

基本情報

科目名	社会福祉の原理と政策
時間割コード	1000300201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	村本 浄司
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

担当教員情報

教員名	
未定、村本 浄司	

詳細情報

授業の目的・到達目標	1. 社会福祉の固有の視点である政策の実践の歴史、相互作用の変遷について説明できる。 2. 社会福祉の思想と哲学及び理論の基本事項について説明できる。 3. 現代の社会問題と社会構造の概要について説明できる。 4. 福祉政策の基本的な視点や概念、理念について、説明できる。 5. ニーズという言葉の意味や必要原則、貢献原則、資源の性質や種類について説明できる。
履修上の注意事項	本講義は5名の教員によるオムニバスによって実施する。講義にあたっては、各先生の指示に従い、積極的に参加することを望む。
評価方法	定期試験60%、課題レポート40%で評価する。
テキスト	最新・社会福祉士養成講座 4 社会福祉の原理と政策、一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編、中央法規、2021年
参考文献	適宜資料を配布する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	研究員として障害者支援施設に勤務経験

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、社会福祉の原理とは何かについて理解する(村本)	(事前)教科書P2-P5を読み、わからない語句について調べておく(2時間)。 (事後)社会福祉の原理についてノートにまとめる(2時間)。	
2	社会福祉の原理と様々な理論について理解する(村本)	(事前)教科書P6-P13を読み、わからない語句について調べておく(2時間)。 (事後)社会福祉の様々な理論についてノートにまとめる(2時間)。	
3	社会福祉の歴史を学ぶ意義と英国と米国における福祉の歴史的展開について理解する(村本)	(事前)教科書P16-P33を読み、わからない語句について調べておく(2時間)。 (事後)英国と米国の福祉の歴史についてノートにまとめる(2時間)。	
4	日本の社会福祉の歴史的天下について理解する(村本)	(事前)教科書P34-P45を読み、わからない語句について調べておく(2時間)。 (事後)日本における社会福祉の歩みについてノートにまとめる(2時間)。	
5	自由主義イデオロギーとフェミニズムについて理解する(増田)	(事前)教科書P48-P59を読み、わからない語句について調べておく(2時間)。 (事後)イデオロギー、自由主義、新自由主義についてノートにまとめる(2時間)。	
6	社会福祉の理論について理解する(増田)	(事前)教科書P60-P69を読み、わからない語句について調べておく(2時間)。 (事後)社会福祉の理論についてノートにまとめる(2時間)。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	社会福祉の論点を把握し、公私関係、普遍主義と選別主義について理解する（増田）	（事前）教科書P70-P79を読み、わからない語句について調べておく。 （事後）様々な社会福祉論点について、ノートにまとめる（2時間）。	
8	社会福祉の対象とニーズについて理解する（増田）	（事前）教科書P80-P88を読み、わからない語句について調べておく（2時間）。 （事後）社会福祉における対象の捉え方についてノートにまとめる（2時間）。	
9	現代における社会問題について理解する（阿部）	（事前）教科書P90-P99を読み、わからない語句について調べておく（2時間）。 （事後）現代の様々な社会問題についてノートにまとめる（2時間）。	
10	社会問題が生じている構造的背景について理解する（阿部）	（事前）教科書P100-P108を読み、わからない語句について調べておく（2時間）。 （事後）社会問題の構造的背景について、ノートにまとめる（2時間）。	
11	福祉政策とニーズの概念について理解する（橋本）	（事前）教科書P110-118を読み、わからない語句について調べる（2時間）。 （事後）福祉政策とニーズについてノートにまとめる（2時間）。	
12	自由と平等、自由主義と新自由主義が福祉に与える影響について理解する（橋本）	（事前）教科書P119-P131を読み、わからない語句について調べておく（2時間）。 （事後）新自由主義が福祉政策に与える影響についてノートにまとめる（2時間）。	
13	福祉におけるニーズの概念について学ぶ（ニーズの使われ方、ニーズとデマンド）（平川）	（事前）教科書P134-P143を読み、わからない語句について調べておく（2時間）。 （事後）ニーズとデマンドの関係についてノートにまとめる（2時間）。	
14	福祉におけるニーズの概念について学ぶ（行政需要と行政ニーズ、ニーズの把握、ニーズの種類）（平川）	（事前）教科書P143 - P151を読み、わからない語句について調べておく（2時間）。 （事後）公正の原理としての必要原則についてノートにまとめる（2時間）。	
15	ニーズを充足するものとしての資源について理解する（村本）	（事前）教科書P152-163を読み、わからない語句について調べる（2時間）。 （事後）福祉政策における資源についてノートにまとめる（2時間）。	

基本情報

科目名	社会福祉の原理と政策
時間割コード	1000530201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	未定
科目区分	専門科目 社会福祉学科基礎専門科目

担当教員情報

教員名
未定

詳細情報

授業の目的・到達目標	1 福祉政策の課題について理解する。 2 福祉政策の構成要素（福祉政策における政府、市場、家族、個人の役割を含む）について理解する。 3 社会福祉をめぐる日本及び諸外国の動向について理解する。 4 福祉政策と関連政策（教育政策、住宅政策、労働政策を含む）の関係について理解する。 5 相談援助活動と福祉政策との関係について理解する。
履修上の注意事項	授業前にテキストを読み、キーワードについて調べてくること。 授業後に復習しておくこと。
評価方法	定期試験60%、レポート40%で評価する。
テキスト	社会福祉士養成講座編集委員会編『現代社会と福祉』第4版（中央法規、2019年）。
参考文献	厚生労働省編『（平成31年版）厚生労働白書』（ぎょうせい、2019年）。 内閣府編『（平成31年版）障害者白書』（日経印刷、2019年）。『社会福祉六法』（最新版）。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、福祉政策の現代的課題		
2	福祉政策の課題と国際動向（社会的包摂、社会連帯、セーフティネット、その他）		
3	福祉政策の論点1（効率性と公平性、必要と資源、普遍主義と選別主義、自立と依存、ジェンダー）		
4	福祉政策の論点2（自己選択とパターナリズム、参加とエンパワーメント、福祉政策の視座）		
5	福祉政策における政府の役割		
6	福祉政策における市場の役割		
7	福祉政策における国民の役割		
8	福祉供給部門（政府部門、民間部門、ボランティア部門、インフォーマル部門、その他）		
9	福祉供給過程（公私関係、再分配、割当、行財政、計画、その他）		
10	福祉利用過程（スティグマ、情報の非対称性、受給資格とシティズンシップ、その他）		
11	福祉政策と教育政策、福祉政策と住宅政策など		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
12	福祉政策と労働政策、震災と福祉政策など		
13	福祉供給の政策過程と実施過程		
14	福祉政策の国際比較		
15	福祉政策の課題と展望		

基本情報

科目名	高齢者福祉論
時間割コード	0223700701
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	吉岡 久美
科目区分	専門科目 社会福祉学科基礎専門科目

担当教員情報

教員名
吉岡 久美

詳細情報

授業の目的・到達目標	高齢者に関する社会福祉に関する課題を理解し、課題解決ができるための基礎知識を得ることを目的とする。 1. 高齢者への支援に必要な介護保険法の概要、諸手続き方法、居宅・施設サービスの種類、地域支援事業、地域包括支援センターの機能や役割を説明できる。 2. 高齢者への総合的相談援助に必要な高齢者諸関係法を説明できる。
履修上の注意事項	該当する単元については、指定テキストを用いて事前に学習しておくこと。講義後もう一度通読して復習し、理解を深めること。 また、指示したレポートは期限を守り、提出すること。 (事前事後学習 計90分程度)
評価方法	定期試験90%、課題レポート10%で評価する。 レポートについてはコメントして返却する。
テキスト	社会福祉士養成講座編集委員会編『高齢者に対する支援と介護保険制度-高齢者福祉論-』(最新版)中央法規。 野崎和義監修『社会福祉六法』(最新版)ミネルヴァ書房。
参考文献	日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新 社会福祉士養成講座2 高齢者福祉』中央法規 授業中、適宜紹介
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	介護保険法の目的、保険者と被保険者、保険料を知る。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
2	介護保険法の要介護認定の仕組みとプロセスを理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
3	介護保険サービスの種類と体系を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
4	介護保険法の居宅・介護予防・地域密着型サービス、住宅改修を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
5	介護保険法の施設サービスの種類、役割、機能を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
6	地域包括支援センターの役割と実際を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
7	介護保険法における地域支援事業、苦情処理、審査請求、介護保険制度の動向を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
8	介護保険法における組織及び団体の役割を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
9	介護保険法における専門職の役割と実際を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
10	介護保険法におけるネットワーキングとその実際を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
11	老人福祉法の歴史と概要、サービスと援助を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
12	高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
13	高齢者の権利擁護と成年後見制度を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
14	高齢者の居住の安定確保について理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
15	高齢者関連法とその関係、諸施策を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	

基本情報

科目名	高齢者福祉論
時間割コード	0223900401
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	吉岡 久美
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
吉岡 久美

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 現代社会における高齢者福祉の理念と意義を説明できる。</p> <p>2. 高齢者の身体的・精神的・心理社会的特長や特性、障害等を説明できる。</p> <p>3. 認知症高齢者の障害特性とケアを説明できる。</p> <p>4. 高齢者や家族に対する相談援助活動を説明できる。</p> <p>5. 高齢者支援の地域活動や民間活動、シルバーサービス等を説明できる。</p>
履修上の注意事項	<p>該当する単元については、指定テキストを用いて事前に学習しておくこと。講義後もう一度通読して復習し、理解を深めること。</p> <p>また、指示したレポートは期限を守り、提出すること。</p> <p>事前・事後学習に要する時間 計90分程度</p>
評価方法	<p>定期試験90%、課題レポート10%で評価する。</p> <p>レポートはコメントを入れて返却する。</p>
テキスト	<p>社会福祉士養成講座編集委員会編『高齢者に対する支援と介護保険制度-高齢者福祉論-』(最新版)中央法規。</p> <p>野崎和義監修『社会福祉六法』(最新版)ミネルヴァ書房。</p>
参考文献	<p>日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新 社会福祉士養成講座2 高齢者福祉』中央法規</p> <p>その他 授業中、適宜紹介</p>
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	<p>吉岡久美：看護師・管理者として病院勤務経験 訪問看護師・管理者として訪問看護ステーション勤務経験</p> <p>介護教員として介護福祉士養成校勤務経験</p>

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	高齢者の処遇の変遷を、歴史を振り返りながら理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
2	産業構造の変化に伴う高齢者への影響と、少子高齢社会における課題を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
3	高齢社会における地域創世の取り組みを理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
4	居住世帯と家族介護の問題及び課題を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
5	高齢者の所得や就労状況、地域社会との関係を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
6	高齢者の身体的・心理的特性と疾病を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
7	高齢者の精神的特性と疾病を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
8	高齢者の社会的特性を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
9	認知症を医学的・心理学的に理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
10	認知症高齢者のケアの理念と方法を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
11	高齢者やその家族、地域住民への支援の方法を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
12	独り暮らしや寝たきりの高齢者やその家族に対する支援と相談援助活動を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
13	認知症高齢者やその家族に対する相談援助活動を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
14	社会福祉協議会の取り組みやボランティア活動、非営利民間活動を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
15	シルバーサービスの現状と展望を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	

基本情報

科目名	障害者福祉論
時間割コード	0223700801
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	増田 公香
科目区分	専門科目 社会福祉学科基礎専門科目

担当教員情報

教員名
増田 公香、平川 泰士

詳細情報

授業の目的・到達目標	1 障害者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉・介護需要（地域移行や就労の実態を含む）について理解する。 2 障害者福祉制度の発達過程について理解する。 3 相談援助活動において必要となる障害者総合支援法や障害者の福祉・介護に係る他の法制度について理解する。
履修上の注意事項	授業前にテキストを読み、キーワードについて調べてくること。 授業後に復習しておくこと。
評価方法	定期試験60%、レポート20%、発表20%で評価する。
テキスト	社会福祉士養成講座編集委員会編『障害者に対する支援と障害者自立支援制度』第6版（中央法規、2019年）。
参考文献	厚生労働省編『（平成30年版）厚生労働白書』（ぎょうせい、2018年）。 内閣府編『（平成30年版）障害者白書』（日経印刷、2018年）。『社会福祉六法』（最新版）。
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	障害者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉・介護需要		
2	障害者福祉制度の発達過程		
3	障害者総合支援法		
4	障害者総合支援法における組織及び団体の役割と実際		
5	障害者総合支援法における専門職の役割と実際		
6	障害者総合支援法における多職種連携、ネットワーキングと実際		
7	相談支援事業所の役割と実際		
8	身体障害者福祉法		
9	知的障害者福祉法		
10	精神保健及び精神障害者福祉に関する法律		
11	発達障害者支援法		
12	障害者基本法		
13	心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律		
14	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
15	障害者の雇用の促進等に関する法律		

基本情報

科目名	障害者福祉論
時間割コード	0223900601
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	未定
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
未定

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1 障害者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢や福祉・介護需要について理解する。</p> <p>2 障害者福祉及び関連分野の専門職とその連携のあり方について理解する。</p> <p>3 相談援助活動において必要となる障害者総合支援法や福祉・介護に係る他の法制度について理解する。</p> <p>4 障害者福祉全般に関する制度改革を理解し、地域生活支援という懸案の課題を認識する。</p>
履修上の注意事項	<p>授業前にテキストを読み、キーワードについて調べてくること。</p> <p>授業後に復習しておくこと。</p>
評価方法	定期試験60%、レポート20%、発表20%で評価する。
テキスト	社会福祉士養成講座編集委員会編『障害者に対する支援と障害者自立支援制度』第6版(中央法規、2019年)。
参考文献	厚生労働省編『(平成31年版)厚生労働白書』(ぎょうせい、2019年)。 内閣府編『(平成31年版)障害者白書』(日経印刷、2019年)。「社会福祉六法」(最新版)。
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	障害者総合支援法におけるサービス 1(障害福祉サービスの種類、障害者支援施設の種類など)		
2	障害者総合支援法におけるサービス 2(補装具・住宅改修の種類、自立支援医療など)		
3	地域生活支援事業		
4	介護保険と障害者サービス		
5	障害者福祉の関連分野 1(保健・医療)、2(教育)		
6	障害者福祉の関連分野 3(雇用・就労)		
7	障害者福祉の関連分野 4(所得保障・経済負担の軽減)		
8	障害者福祉の関連分野 5(生活環境の改善)、6(情報保障・権利擁護)		
9	障害者福祉の関連分野 7(ボランティア、文化、スポーツ、レクリエーションなど)		
10	障害者運動と当事者参加		
11	ケアマネジメントとソーシャルワーク		
12	障害者福祉におけるチームワーク		
13	相談援助活動事例		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	障害者の自立と就労支援（work and support）		
15	障害者福祉の課題と展望		

基本情報

科目名	ソーシャルワーク論
時間割コード	1000540201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 5
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	増田 公香
科目区分	専門科目 社会福祉学科基礎専門科目

担当教員情報

教員名
増田 公香

詳細情報

授業の目的・到達目標	1.社会福祉士、精神保健福祉士の法的な位置づけについて理解する。 2.ソーシャルワークの基盤となる考え方とその形成について理解する。 3.ソーシャルワークの価値規範と倫理について理解する。
履修上の注意事項	毎回講義資料を配布するので、授業後は教科書の内容とともに復習し、理解しておくこと。 また、わからない用語については調べておくこと(120分) 事後には講義内容を配布資料やテキストをもとに復習し、必要に応じて講義内にて提示される課題に取り組むこと(120分)。
評価方法	試験80%、課題レポート20%により評価する。
テキスト	社会福祉士養成講座編集委員会編『相談援助の基盤と専門職』中央法規(最新版)
参考文献	講義内にて適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	現代社会の特性から、地域生活における課題を理解できる。		
2	社会福祉士、精神保健福祉士の役割と意義について、各身分法の定義と役割から理解する。		
3	社会福祉士、精神保健福祉士の役割と意義について、法制度見直しの背景や義務から理解する。		
4	社会福祉士、精神保健福祉士の専門性を理解する。		
5	ソーシャルワークの概念を、国際ソーシャルワーカー連盟(IFSW)の定義から理解する。		
6	ソーシャルワークの構成要素を、知識、技術、価値の側面から理解する。		
7	ソーシャルワークの形成について、基礎確立期をもとに理解する。		
8	ソーシャルワークの形成について、展開期をもとに理解する。		
9	ソーシャルワークの形成について、統合化とジェネラリスト・ソーシャルワークから理解する。		
10	ソーシャルワークの実践について、理念と価値や判断から理解する。		
11	ソーシャルワークの理念として、人権尊重と社会正義、利用者本位、尊厳の保持から理解する。		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
12	ソーシャルワークにおける権利擁護の背景・定義・種類・システムを理解する。		
13	ソーシャルワークにおける権利擁護の意義と実践を理解する。		
14	自己決定と自立支援、エンパワーメントとストレングス視点を理解する。		
15	ノーマライゼーションや地域生活支援、ソーシャル・インクルージョンを理解する。		

基本情報

科目名	児童福祉論
時間割コード	0223700601
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	橋本 眞奈美
科目区分	専門科目 社会福祉学科基礎専門科目

担当教員情報

教員名
橋本 眞奈美

詳細情報

授業の目的・到達目標	1 児童・家庭の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要を理解する。 2 児童・家庭福祉制度の発展過程を理解する。 3 児童の権利について理解する。 4 相談援助において必要となる児童・家庭福祉制度や児童・家庭福祉に係る他の法制度について理解する。
履修上の注意事項	社会福祉士国家試験受験資格取得希望者は必ず履修すること。授業前にテキストを読むこと（30分）。授業後にテキストを再読する、また専門用語に注目しつつ復習する（60分）。
評価方法	試験80点、授業内レポート20点で評価する。レポートの内容については講義内で説明する。
テキスト	『3 児童・家庭福祉』一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編 中央法規（最新版）
参考文献	社会福祉用語辞典（第9版）山縣文治・柏女霊峰編集委員代表 ミネルヴァ書房
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	児童福祉の学びのポイントの理解、児童や家庭に対する支援と家庭福祉制度の概要の理解		
2	児童・家庭の生活実態と社会の関連性を理解する		
3	子育て、ひとり親家庭、児童虐待、家庭内暴力の実態から福祉需要を把握する		
4	地域における子育て支援及び青少年育成の実態から福祉需要を把握する		
5	児童・家庭福祉制度の発展過程を理解する		
6	「児童福祉法」の概要を学ぶ、児童の定義と権利を理解する		
7	児童相談所の役割と実際（組織体系、児童福祉司等の専門職の業務、他職種との連携）を理解する		
8	「児童虐待防止法」の概要、社会的養護の理解と自治体の役割を理解する		
9	「DV法」「母子及び父子並びに寡婦福祉法」の目的理解、婦人相談所や保護施設の役割理解		
10	児童健全育成・保育と児童手当等の社会手当の役割を関連付けて理解する		
11	「母子保健法」「子ども・子育て支援法」の役割理解と子どもの貧困対策について理解する		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
12	児童・家庭福祉制度と地域における他職種連携とネットワーキングと実際を理解する		
13	障害・難病のある子どもと家族の理解と相談援助活動についての考察		
14	児童虐待・非行・情緒障害児等と社会的養護の関連性の理解と相談援助活動についての考察		
15	児童・家庭に対する相談援助活動についての整理と理解		

基本情報

科目名	児童福祉論
時間割コード	0223900301
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	橋本 眞奈美
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
橋本 眞奈美

詳細情報

授業の目的・到達目標	障害児福祉の要である人権とその子に適した発達の保障という視点は、全ての児童に保障されるべき人権に繋がるものである。よって、この講義を通して児童福祉の中でも特別な配慮が求められる障害児について理解を深める。また社会的養護が必要な児童の事例から児童福祉の諸制度を活用する意義について理解する。
履修上の注意事項	社会福祉士受験資格希望者は、可能な限り履修する。授業後に専門用語に注目しつつ復習していくこと。
評価方法	筆記試験80点、講義内レポート20点で評価する。レポート課題については講義内で明示する。
テキスト	国民の福祉と介護の動向 2020/2021 厚生労働統計協会
参考文献	社会福祉用語辞典(第9刷) 山縣文治・柏女霊峰編集委員代表(ミネルヴァ書房)
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	特別な配慮が必要な児童について考える		
2	社会的養護の役割と制度を理解する		
3	児童虐待と社会的養護の関係を理解する		
4	児童虐待の実態の理解と求められる支援を理解する		
5	障害のある児童の実態と、おかれている状況を理解する		
6	障害のある児童に対する支援制度を理解する		
7	障害のある児童の育ちの保障と求められる支援について考える		
8	胎児期、乳児期、幼児期の児童のおかれている状況と支援制度を理解する		
9	学童期、思春期の児童のおかれている状況と支援制度を理解する		
10	子どもの貧困の実態についての理解と求められる支援について考える		
11	家族支援の重要性を理解する		
12	スクールソーシャルワーカーの役割と実際を理解する		
13	障害のある児童に対する社会的包摂の重要性と実現のための支援について考える		
14	社会的養護を受けた児童に対する社会的包摂の重要性と実現のための支援について考える		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
15	子ども・家庭への援助活動の今までとこれからについて理解する		

基本情報

科目名	ソーシャルワーク論
時間割コード	1000550201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	増田 公香
科目区分	専門科目 社会福祉学科基礎専門科目

担当教員情報

教員名
増田 公香

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 社会福祉士の職域と求められる役割について理解する。</p> <p>2. ソーシャルワークに関わる専門職の概念と範囲について理解する。</p> <p>3. ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象と関連性について理解する。</p> <p>4. 総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容について理解する。</p>
履修上の注意事項	<p>事前に次回の講義内容に該当するテキスト部分を読んでおくこと。またわからない用語については調べておくこと(120分)</p> <p>事後には講義内容を配布資料やテキストをもとに復習し、必要に応じて講義内にて提示される課題に取り組むこと(120分)</p>
評価方法	定期試験及びレポート・平常点で総合評価する。詳細は授業内で提示する。
テキスト	社会福祉士養成講座編集委員会編『相談援助の基盤と専門職』中央法規(最新版)
参考文献	講義内にて適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	ソーシャルワーカーである社会福祉士の職域と役割		
2	ソーシャルワークに関わる専門職の概念と範囲		
3	社会福祉士の職域の変遷と拡大		
4	福祉行政等における専門職と民間の施設・組織における専門職		
5	ソーシャルワークにおける諸外国の動向		
6	ミクロ・めぞ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの意味と対象		
7	ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの介入と関連性		
8	ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの実際		
9	総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容		
10	総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容		
11	ジェネラリストの視点に基づく多機関による包括的支援体制		
12	ジェネラリスト視点に基づくソーシャルサポートネットワーク		
13	ジェネラリストの視点に基づく多職種連携及びチームアプローチの意義		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	ジェネラリストの視点に基づく機関・団体間の合意形成と相互関係		
15	ジェネラリストの視点に基づく利用者、家族の参画		

基本情報

科目名	ソーシャルワーク論
時間割コード	0223901501
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 5
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	増田 公香
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名	
増田 公香	

詳細情報

授業の目的・到達目標	1. 相談援助における人と環境との交互作用に関する理論について理解できる。 2. 相談援助の対象と様々な実践モデルについて理解できる。 3. 相談援助の過程、知識や技術(介護保険及び障害者総合支援のサービス計画等を含む)について理解できる。 4. 相談援助における事例分析の意義や方法について理解できる。 5. 相談援助の実際(権利擁護活動を含む)について理解し、支援が展開できる。
履修上の注意事項	1. 社会福祉士国家試験受験資格取得希望者は、必ず履修する必要がある。 3. 予習については、授業計画のテーマに基づいて、テキストや他の文献等で事前学習すること(30分程度)。 4. 復習については、疑問点や理解不足の部分をテキスト等で再確認すること(30分程度)。
評価方法	期末試験と必要に応じたレポート課題によって評価する。
テキスト	社会福祉士養成講座編『相談援助の理論と方法』新・社会福祉士養成講座、中央法規出版。
参考文献	社会福祉士養成講座編『相談援助の基礎と専門職』新・社会福祉士養成講座、中央法規出版。 1年の教科書
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	ソーシャルワーク(相談援助)における援助関係の意義と概念を理解する(利用者の意思決定支援)		
2	ソーシャルワーク(相談援助)における関係形成を理解する(ラポール、自己覚知など)		
3	ソーシャルワーク(相談援助)の機能・役割を理解する(マイクロ・メゾ・マクロの相互関係)		
4	インテークの意義、目的を理解する		
5	インテークの方法、留意点を理解する(マイクロカウンセリング等傾聴・共感等のスキル)		
6	アセスメントの意義、目的を理解する(問題把握・ニーズ確定支援等・エコマップのスキル)		
7	アセスメントの方法、留意点を理解する(事前評価から支援目標等記入のスキル)		
8	プランニングの意義、目的を理解する(援助計画、介護保険のケアプラン、ナラティブのスキル)		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
9	プランニングの方法、留意点を理解する（援助計画、センター方式のスキル）		
10	説明と同意、及び各サービス計画を理解する（ケアプランの作成と契約スキル）		
11	モニタリングと評価の目的、方法を理解する（プロセス評価とアウトカム評価）		
12	再アセスメントを理解する（初期アセスメント・再アセスメント）		
13	終結と効果測定の目的、方法を理解する（支援プロセスの視覚化）		
14	予防的対応とサービス開発を理解する（個別援助から地域支援へ）		
15	相談援助論の総合スキルを理解する（新たな福祉サービス支援・全世代型援助）		

基本情報

科目名	ソーシャルワーク論
時間割コード	0223901601
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	田島 望
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
田島 望

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 相談援助における人と環境との交互作用に関する理論について理解する。</p> <p>2. 相談援助の対象と様々な実践モデルについてそのスキルが実践できる。</p> <p>3. 相談援助の過程、知識や技術について理解でき、援助のプランニングができる。</p> <p>4. 相談援助における事例分析の意義や方法について理解し、実践できる。</p> <p>5. 相談援助の実際(権利擁護活動を含む)について理解し、実践できる。</p> <p>以上を通して、さまざまな生活課題に対して、他職種との連携や協働、個性性を尊重した支援ができる能力を身につける。</p>
履修上の注意事項	<p>1 社会福祉士国家試験受験希望者は、必ず履修すること。</p> <p>2 事前学習として、各講義内容に該当するテキスト部分を読んで、専門用語を調べることを含めて学習しておくこと(120分)。</p> <p>3 事後学習として、講義内で疑問に思ったことや支援方法等についてテキストを用いて整理し再確認すること(120分)。</p>
評価方法	単位修得試験によって評価する(100%)。
テキスト	社会福祉士養成講座編集委員会編 7 『相談援助の理論と方法』(最新版)中央法規出版。
参考文献	講義の展開に応じて、適宜、提示・案内する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	1.オリエンテーション ソーシャルワーク論 の振り返り (相談援助のプロセスを中心に)	ソーシャルワーク論 ~ の振り返りをしておくこと。また、専門用語等について整理しておくこと(120分) 講義後には、授業で疑問に思ったことや支援方法をテキスト等を用いて整理・再確認すること(120分)。	
2	2.相談援助の展開過程 個別支援から地域支援へ	講義前には講義内容に該当するテキスト部分を読んでおくこと。また、専門用語等について整理しておくこと(120分) 講義後には、授業で疑問に思ったことや支援方法をテキスト等を用いて整理・再確認すること(120分)。	
3	3.相談援助のためのアウトリーチの技法	講義前には講義内容に該当するテキスト部分を読んでおくこと。また、専門用語等について整理しておくこと(120分) 講義後には、授業で疑問に思ったことや支援方法をテキスト等を用いて整理・再確認すること(120分)。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
4	4.相談援助のための契約の技術	講義前には講義内容に該当するテキスト部分を読んでおくこと。また、専門用語等について整理しておくこと（120分） 講義後には、授業で疑問に思ったことや支援方法をテキスト等を用いて整理・再確認すること（120分）。	
5	5.相談援助のためのアセスメントの技術	講義前には講義内容に該当する過程やアセスメントの内容を読んでおくこと。また、専門用語等について整理しておくこと（120分） 講義後には、授業で疑問に思ったことや支援方法をテキスト等を用いて整理・再確認すること（120分）。	
6	6.相談援助のためのアセスメントの技術	講義前には講義内容に該当する過程やアセスメントの内容を読んでおくこと。また、専門用語等について整理しておくこと（120分） 講義後には、授業で疑問に思ったことや支援方法をテキスト等を用いて整理・再確認すること（120分）。	
7	7.相談援助の介入技術	講義前には講義内容に該当する過程や介入の内容を読んでおくこと。また、専門用語等について整理しておくこと（120分） 講義後には、授業で疑問に思ったことや支援方法をテキスト等を用いて整理・再確認すること（120分）。	
8	8.相談援助のための面接の技術	講義前には講義内容に該当する過程や面接の内容を読んでおくこと。また、専門用語等について整理しておくこと（120分） 講義後には、授業で疑問に思ったことや支援方法をテキスト等を用いて整理・再確認すること（120分）。	
9	9.相談援助のための記録 意義と目的 記録の種類と活用	講義前には講義内容に該当する記録についての内容を読んでおくこと。また、専門用語等について整理しておくこと（120分） 講義後には、授業で疑問に思ったことや支援方法をテキスト等を用いて整理・再確認すること（120分）。	
10	10.相談援助のための記録 記録の方法とIT化 記録と倫理	講義前には講義内容に該当する記録についての内容を読んでおくこと。また、専門用語等について整理しておくこと（120分） 講義後には、授業で疑問に思ったことや支援方法をテキスト等を用いて整理・再確認すること（120分）。	
11	11.相談援助のための交渉と技術	講義前には講義内容に該当する交渉についての内容を読んでおくこと。また、専門用語等について整理しておくこと（120分） 講義後には、授業で疑問に思ったことや支援方法をテキスト等を用いて整理・再確認すること（120分）。	
12	12.スーパービジョンの技術 スーパーバイザーとスーパーバイジーの関係	講義前には講義内容に該当するスーパービジョンについての内容を読んでおくこと。また、専門用語等について整理しておくこと（120分） 講義後には、授業で疑問に思ったことや支援方法をテキスト等を用いて整理・再確認すること（120分）。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	1 3 .事例研究・事例分析 児童虐待 が疑われた事例 ホームレスへの相談援助事例	講義前には講義内容に該当する事例研究・分析についての内容を読んでおくこと ．また，専門用語等について整理しておくこと（120分） 講義後には，授業で疑問に思ったことや支援方法をテキスト等を用いて整理・再確認すること（120分）．	
14	1 4 .事例研究・事例分析 ドメスティック・バイオレンスの事例 認知症夫婦の事例	講義前には講義内容に該当する事例研究・分析についての内容を読んでおくこと ．また，専門用語等について整理しておくこと（120分） 講義後には，授業で疑問に思ったことや支援方法をテキスト等を用いて整理・再確認すること（120分）．	
15	1 5 .事例研究・事例分析 社会的排除に対する事例	講義前には講義内容に該当する事例研究・分析についての内容を読んでおくこと ．また，専門用語等について整理しておくこと（120分） 講義後には，授業で疑問に思ったことや支援方法をテキスト等を用いて整理・再確認すること（120分）．	

基本情報

科目名	ソーシャルワーク演習
時間割コード	1000580201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	村本 浄司
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
村本 浄司

詳細情報

授業の目的・到達目標	相談援助の知識と技術に係るほかの科目との関連性も視野に入れつつ、社会福祉士・精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について、次に掲げる方法を用いて、実践的に習得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができることをめざす。総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発に係る具体的な相談援助事例を体系的にとりあげること。個別指導並びに集団指導を通して、具体的な援助場面を想定した実技指導(ロールプレイング等)を中心とする演習形態により実施する。
履修上の注意事項	小集団による話し合いやグループワークを行うので、積極的に参加することを求める。本演習では、社会福祉士、精神保健福祉士の国家資格の取得を前提とし、専門職として就労することを目標にする学生が望ましい。また、指定された課題について、あらかじめ調べ準備を整え、不明な箇所については自身で調べ直す予習復習を求める。
評価方法	授業態度・発表の内容・技能習得状況が50%、予習復習による自主的学習態度・状況が10%、課題の内容・提出状況・学期末時の課題が40%による総合評価とする。
テキスト	授業内で提示する。
参考文献	随時指示する。
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	ソーシャルワーク演習
時間割コード	1000580203
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	橋本 眞奈美
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
橋本 眞奈美

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>社会福祉士・精神保健福祉士に求められる具体的な援助場面を想定した実技指導を通して、ソーシャルワーカーに求められるコミュニケーション能力をはじめとした基礎的な能力の涵養を目指す。またソーシャルワークの知識と技術を実践的に理解する。</p> <p>具体的なソーシャルワークの展開過程を学ぶことで、ソーシャルワークの価値規範と倫理について実践的に理解する。またソーシャルワークの展開過程において必要となる他の科目との関連性を理解する。</p> <p>ロールプレイングといった具体的な援助場面を想定した実技指導を中心とした学びをとおして実践的理解を深める。</p>
履修上の注意事項	<p>社会福祉士国家試験受験資格希望者、及び精神保健福祉士国家試験受験資格希望者は、必ず1年次2学期から履修すること。</p> <p>グループでの話し合いでは進んで発言することが望まれる。授業の前には配布されている資料を熟読しておくこと。授業後は専門用語の確認と授業内容を振り返っておくこと。</p>
評価方法	<p>授業態度、積極的姿勢から20%</p> <p>課題レポートの提出&内容から30%</p> <p>試験から50%</p>
テキスト	『ソーシャルワーク基本用語辞典』 2013年刊 川島書店
参考文献	必要に応じて配布、もしくは指示する
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	シラバスの説明、アイスブレイキング(自己紹介を含む) ソーシャルワーク演習の意義と目的を理解する		
2	ソーシャルワークの展開に求められる知識と技術に係る他科目との関連性について理解する		
3	人と環境の交互作用について学ぶことで、人とその人を取り巻く環境の把握の重要性と生活モデルを理解する		
4	人と環境の交互作用について学ぶことで、自己理解と他者理解の重要性と難しさを理解する		
5	ソーシャルワークの具体的展開の学びをとおして価値基準、及び倫理、理念の重要性を理解する		
6	ソーシャルワークの展開に求められる機能と、ソーシャルワーカーが果たす役割を理解する		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	コミュニケーション技術の実技指導 クライアントとの関わりにおける注意事項と特質		
8	面接技術について実技指導 面接の構造化と環境の重要性		
9	面接技術について実技指導 言語的表現の習得		
10	ソーシャルワークの展開過程 インテークの重要性の理解と、ラポール形成		
11	ソーシャルワークの展開過程 アセスメントの重要性の理解とニーズ抽出		
12	ソーシャルワークの展開過程 利用者主体、環境との相互作用の実際		
13	ソーシャルワークの展開過程 プランニングとモニタリングの実際		
14	実践知を踏まえたモニタリングとアフターケアの理解		
15	実践知を踏まえたスーパービジョンの重要性		

基本情報

科目名	ソーシャルワーク演習
時間割コード	1000580204
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	田島 望
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
田島 望

詳細情報

授業の目的・到達目標	ソーシャルワークの実践に必要なコミュニケーション能力を養う。ソーシャルワークの知識と技術に係る他の科目との関連性を踏まえ、社会福祉士及び精神保健福祉士として求められる基礎的な能力を涵養する。またソーシャルワークの価値規範と倫理について実践的に理解する。ソーシャルワークの展開過程において必要になる知識と技術を実践的に理解する。ロールプレイングといった具体的な援助場面を想定した実技指導を中心とした演習を通して実践的理解を深める。
履修上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義と実習をつなぐ重要な科目であることを理解して取り組んでください。 ・ 次回の講義内容をよく確認し、テキスト等を読んで講義科目の復習を行っておくこと(120分)。 ・ 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと(120分)。 ・ 演習形態での授業のため、各回のグループワークやロールプレイ等への主体的な参加(発言)を求めます ・ 毎回の講義を積み上げていきますので、出席は必須と考えてください。
評価方法	演習の参加態度と授業内の課題への取り組み(40%)、課題レポート(30%)、学期末総合課題(30%)により評価します。
テキスト	テキストは使用しません。講義内にて、適宜紹介・配布します。
参考文献	講義内にて、適宜紹介します
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
<ol style="list-style-type: none"> 1. 自己覚知と他者理解の重要性を理解する。自己覚知に取り組み、深める。 2. 基本的なコミュニケーション技術(言語的技術:質問や促し、言い換え)を習得する。 3. 基本的なコミュニケーション技術(言語的技術:感情の反映、繰り返し、要約等)を習得する。 4. 基本的なコミュニケーション技術(非言語的技術:表情、態度、身振り、位置取り等)を習得する。 5. 面接の構造化といった基本的な面接技術を理解し習得する。 6. 面接の場の設定やツールの活用等について学び理解する。 7. ケースの発見、インテークの事例を用いてソーシャルワーク場面と過程を想定した実技指導を通して実践的に理解する。 8. 事例を用いてソーシャルワークの場面と過程を想定したアセスメントについて実技指導を通して実践的に理解する。 9. 事例を用いてソーシャルワークの場面と過程を想定したプランニングについて実技指導を通して実践的に理解する。 10. プランに基づいた支援の実施とモニタリングまでの事例を用いてソーシャルワークの場面と過程を想定した実技指導を通して実践的に理解する。 11. 支援の終結と事後評価について学び、アフターケアの事例を用いてソーシャルワークの場面と過程を想定した実技指導を通して実践的に理解する。 12. ソーシャルワークの記録の重要性に対する理解と支援経過の把握と管理について実践的に理解する。 13. グループワークの実践を通して、グループダイナミクスの活用について実践的に理解する。 14. グループワークの実践を通して準備期、開始期、作業期、終結期までの展開過程を実践的に理解する。 15. 個人及びグループによるプレゼンテーション技術を習得する。 <p>【事前・事後学習について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事前学習として、上記の講義内容をよく確認し、テキスト等を読んで講義科目(特にソーシャルワーク論)の復習を行っておくこと。また分からない用語等について確認し調べておくこと(120分)。 ・ 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べて整理しておくこと(120分)

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	相談援助演習
時間割コード	0223901903
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	増田 公香
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
増田 公香

詳細情報

授業の目的・到達目標	相談援助の知識と技術に係るほかの科目との関連性も視野に入れつつ、社会福祉士・精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について、次に掲げる方法を用いて、実践的に習得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができることをめざす。総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発に係る具体的な相談援助事例を体系的にとりあげること。個別指導並びに集団指導を通して、具体的な援助場面を想定した実技指導（ロールプレイング等）を中心とする演習形態により実施する。
履修上の注意事項	小集団による話し合いやグループワークを行うので、積極的に参加することを求める。本演習では、社会福祉士、精神保健福祉士の国家資格の取得を前提とし、専門職として就労することを目標にする学生が望ましい。また、指定された課題について、あらかじめ調べ準備を整え、不明な箇所については自身で調べ直す予習復習を求める。
評価方法	授業態度・発表の内容・技能習得状況が50%、予習復習による自主的学習態度・状況が10%、課題の内容・提出状況・学期末時の課題が40%による総合評価とする。
テキスト	授業内で提示する。
参考文献	随時指示する。
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	相談援助演習
時間割コード	0223901908
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	村本 浄司
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
村本 浄司

詳細情報

授業の目的・到達目標	社会福祉士・精神保健福祉士に求められる具体的な援助場面を想定した実技指導を通して、相談援助に係る知識や技術を実践的に習得することができる。 相談援助及び地域福祉の基盤整備と開発に係る具体的な相談援助事例を体系的に学ぶことで、相談援助を概念化、理論化し、体系立てて捉えることができる。 相談援助の知識と技術に係る他の科目との関連性を把握することができる。
履修上の注意事項	社会福祉士国家試験受験資格希望者は、必ず2年次1学期から履修すること。 グループでの話し合いでは、進んで発言することが望まれる。授業の前には配布されている資料を熟読しておくこと。授業後は専門用語の確認と授業内容を振り返っておくこと。
評価方法	授業態度、積極的姿勢から20% 課題レポートの提出&内容から30% 試験から50%
テキスト	『ソーシャルワーク基本用語辞典』 2013年刊 川島書店
参考文献	必要に応じて配布、もしくは指示する
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	シラバスの説明、アイスブレイキング(自己紹介を含む)		
2	相談援助の知識と技術に係る他科目との関連性についての理解、個別指導と集団指導の意義と方法		
3	他者理解と自己覚知の意義と方法の理解、加えて技術を取得		
4	基本的コミュニケーション技術の実技指導 コミュニケーションの種類		
5	基本的コミュニケーション技術の実技指導 小集団の性質		
6	基本的コミュニケーション技術の実技指導 対人コミュニケーションの性質		
7	基本的コミュニケーション技術の実技指導 チームアプローチ		
8	基本的な面接技術について実技指導と習得 面接の過程(記録の技術)		
9	基本的な面接技術について実技指導と習得 インテーク(情報の収集・整理・伝達の技術)		
10	基本的な面接技術について実技指導と習得 アセスメント(課題の発見・分析・解決の技術)		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
11	基本的な面接技術について実技指導と習得 プランニング		
12	基本的な面接技術について実技指導と習得 支援の実施とモニタリング		
13	基本的な面接技術について実技指導と習得 効果の測定		
14	基本的な面接技術について実技指導と習得 終結とアフターケア		
15	インテークからアフターケアまでの援助過程の振り返りと要諦の整理		

基本情報

科目名	相談援助演習
時間割コード	0223901909
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	田島 望
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
田島 望

詳細情報

授業の目的・到達目標	相談援助に係る他の科目との関連性も視野に入れつつ、社会福祉士・精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について、次に掲げる方法を用いて、実践的に習得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発に係る具体的な相談援助事例を体系的に学ぶ。具体的な援助場面を想定した実技指導(ロールプレイング)やグループワークを中心とする演習形態にて実施し、必要な技術等について具体的にイメージできる。
履修上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・講義と実習をつなぐ重要な科目であることを理解して取り組んでください。 ・次回の講義内容をよく確認し、テキスト等を読んで講義科目の復習を行っておくこと(120分)。 ・演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと(120分)。 ・演習形態での授業のため、各回のグループワークやロールプレイ等への主体的な参加(発言)を求めます ・毎回の講義を積み上げていきますので、出席は必須と考えてください。
評価方法	演習の参加態度と授業内の課題への取り組み(40%)、課題レポート(30%)、学期末総合課題(30%)により評価します。
テキスト	テキストは使用しません。必要な資料等は講義内にて、適宜紹介・配布します。
参考文献	講義内にて、適宜紹介します
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	シラバスの説明・アイスブレイキング。	講義内容をよく確認し、ソーシャルワーク論等のテキスト等を読み直し講義科目の復習を行っておくこと(120分)。 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと(120分)。	
2	相談援助の知識と技術に係る他科目との関連性の理解。個別指導及び集団指導の意義、方法の理解。	講義内容をよく確認し、ソーシャルワーク論等のテキスト等を読み直し講義科目の復習を行っておくこと(120分)。 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと(120分)。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
3	グループダイナミクスを活用した他者理解と自己理解（自己覚知）	講義内容をよく確認し、ソーシャルワーク論等のテキスト等を読み直し講義科目の復習を行っておくこと（120分）．演習後は内容についての復習を行い、理解できていないグループワークに関する専門用語等を調べておくこと（120分）．	
4	基本的なコミュニケーション技術の実技指導 コミュニケーションの種類	講義内容をよく確認し、ソーシャルワーク論等のテキスト等を読み直し講義科目の復習を行っておくこと（120分）．演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと．また自身のコミュニケーションについて自己覚知を進めること（120分）．	
5	基本的なコミュニケーション技術の実技指導 小集団の性質	講義内容をよく確認し、ソーシャルワーク論等のテキスト等を読み直し講義科目の復習を行っておくこと（120分）．演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと．また自身のコミュニケーションについて自己覚知を進めること（120分）．	
6	基本的なコミュニケーション技術の実技指導 対人コミュニケーションの性質	講義内容をよく確認し、ソーシャルワーク論等のテキスト等を読み直し講義科目の復習を行っておくこと（120分）．演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと．また自身のコミュニケーションについて自己覚知を進めること（120分）．	
7	基本的なコミュニケーション技術の実技指導 チームアプローチ	講義内容をよく確認し、ソーシャルワーク論等のテキスト等を読み直し講義科目の復習を行っておくこと（120分）．演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと．また自身のコミュニケーションについて自己覚知を進めること（120分）．	
8	基本的な面接技術について実技指導を通して習得 面接の過程（記録の技術）	講義内容をよく確認し、ソーシャルワーク論等のテキスト等を読み直し講義科目の復習を行っておくこと（120分）．演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと．また自身のコミュニケーションについて自己覚知を進めること（120分）．	
9	基本的な面接技術について実技指導を通して習得 インテーク（情報の収集・整理・伝達の技術）	講義内容をよく確認し、ソーシャルワークの過程についてのテキスト等を読み直し講義科目の復習を行っておくこと（120分）．演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと．また自身のコミュニケーションについて自己覚知を進めること（120分）．	
10	基本的な面接技術について実技指導を通して習得 アセスメント（課題の発見・分析等の技術）	講義内容をよく確認し、ソーシャルワークの過程についてのテキスト等を読み直し講義科目の復習を行っておくこと（120分）．演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと．また自身のコミュニケーションについて自己覚知を進めること（120分）．	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
11	基本的な面接技術について実技指導を通して習得 プランニング	講義内容をよく確認し、ソーシャルワークの過程についてのテキスト等を読み直し講義科目の復習を行っておくこと（120分）。 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと。また自身のコミュニケーションについて自己覚知を進めること（120分）。	
12	基本的な面接技術について実技指導を通して習得 支援の実施とモニタリング	講義内容をよく確認し、ソーシャルワークの過程についてのテキスト等を読み直し講義科目の復習を行っておくこと（120分）。 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと。また自身のコミュニケーションについて自己覚知を進めること（120分）。	
13	基本的な面接技術について実技指導を通して習得 効果測定	講義内容をよく確認し、ソーシャルワークの過程についてのテキスト等を読み直し講義科目の復習を行っておくこと（120分）。 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと。また自身のコミュニケーションについて自己覚知を進めること（120分）。	
14	基本的な面接技術について実技指導を通して習得 終結とアフターケア	講義内容をよく確認し、ソーシャルワークの過程についてのテキスト等を読み直し講義科目の復習を行っておくこと（120分）。 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと。また自身のコミュニケーションについて自己覚知を進めること（120分）。	
15	ふり返りとまとめ	ここまでの演習内容の復習を行っておくこと（120分）。 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと。また自身のコミュニケーションについて自己覚知を進めること（120分）。	

基本情報

科目名	相談援助演習
時間割コード	0223902001
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	村本 浄司
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
村本 浄司

詳細情報

授業の目的・到達目標	社会福祉士・精神保健福祉士に求められる具体的な援助場面を想定した実技指導を通して、相談援助に係る知識や技術を実践的に習得することができる。 相談援助及び地域福祉の基盤整備と開発に係る具体的な相談援助事例を体系的に学ぶことで、相談援助を概念化、理論化し、体系立てて捉えることができる。 相談援助の知識と技術に係る他の科目との関連性を把握することができる。
履修上の注意事項	社会福祉士の相談援助場面を想定したグループによる学習が中心となるので積極的な姿勢で授業に参加すること。授業の前には配布されている資料を熟読しておくこと。授業後は専門用語の確認と授業内容を振り返っておくこと。
評価方法	授業態度、積極的姿勢から20% 課題レポートの提出&内容から30% 試験から50%
テキスト	『ソーシャルワーク基本用語辞典』 2013年刊 川島書店
参考文献	必要に応じて配布、もしくは指示する
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	アイスブレイキング、授業についてのオリエンテーション、事例研究の意義を理解する		
2	面接のプロセス理解とその重要性について考察を深める		
3	重複(身体・知的)障害(社会的排除を含む) 事例の理解		
4	重複(身体・知的)障害(社会的排除を含む) 相談援助場面及び過程の理解		
5	重複(身体・知的)障害(社会的排除を含む) 実技指導(ロールプレイ、モデリング)		
6	子ども(虐待を含む) 事例の理解		
7	子ども(虐待を含む) 相談援助場面及び過程の理解		
8	子ども(虐待を含む) 実技指導(ロールプレイ、モデリング)		
9	精神(発達)障害(社会的排除を含む) 事例の理解		
10	精神(発達)障害(社会的排除を含む) 相談援助場面及び過程の理解		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
11	精神（発達）障害（社会的排除を含む） 実技指導（ロールプレイ、モデリング）		
12	高齢者（虐待を含む） 事例の理解		
13	高齢者（虐待を含む） 相談援助場面及び過程の理解		
14	高齢者（虐待を含む） 実技指導（ロールプレイ、モデリング）		
15	相談援助場面及び過程の振り返りを通して、アセスメントからプランニングまでの面接過程の再確認		

基本情報

科目名	相談援助演習
時間割コード	0223902003
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	田島 望
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
田島 望

詳細情報

授業の目的・到達目標	相談援助に係る他の科目との関連性も視野に入れつつ、社会福祉士・精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について、次に掲げる方法を用いて、実践的に習得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発に係る具体的な相談援助事例を体系的に学ぶ。具体的な援助場面を想定した実技指導(ロールプレーン)やグループワークを中心とする演習形態にて実施し、必要な力量を身につけることができる。
履修上の注意事項	・相談援助演習 を修得済であることを前提とする。演習 での学びを踏まえて取り組んでください。 ・次回の講義内容をよく確認し、テキスト等を読んで講義科目の復習を行っておくこと(120分)。 ・演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと(120分)。 ・演習形態での授業のため、各回のグループワークやロールプレイ等への主体的な参加(発言)を求める。 ・毎回の講義を積み上げていくため、出席は必須と考えてください。
評価方法	演習の参加態度と授業内の課題への取り組み(40%)、課題レポート(30%)、学期末総合課題(30%)により評価します。
テキスト	講義内にて、適宜紹介・配布します
参考文献	講義内にて、適宜紹介します
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	シラバスの説明。相談援助演習の意義、方法の理解。(演習 のふり返りを含む)	演習 をふり返るとともに、テキスト等を読んで講義科目の復習を行っておくこと(120分)。 ・演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと(120分)。	
2	ソーシャルワークの過程(インターク・アセスメント・プランニング等)の理解	次回の講義内容をよく確認し、テキスト等を読んで講義科目の復習を行っておくこと(120分)。 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと(120分)。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
3	身体障がい（社会的排除を含む）の事例の理解	次回の講義内容をよく確認し、テキスト等を読んで講義科目の復習を行っておくこと（120分）。 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと（120分）。	
4	身体障がい（社会的排除を含む）の相談援助場面及び過程の理解	次回の講義内容をよく確認し、テキスト等を読んで講義科目の復習を行っておくこと（120分）。 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと（120分）。	
5	身体障がい（社会的排除を含む）の実技指導（ロールプレイ・モデリング）	次回の講義内容をよく確認し、テキスト等を読んで講義科目の復習を行っておくこと（120分）。 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと（120分）。	
6	知的障がい（社会的排除を含む）の事例の理解	次回の講義内容をよく確認し、テキスト等を読んで講義科目の復習を行っておくこと（120分）。 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと（120分）。	
7	知的障がい（社会的排除を含む）の相談援助場面及び過程の理解	次回の講義内容をよく確認し、テキスト等を読んで講義科目の復習を行っておくこと（120分）。 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと（120分）。	
8	知的障がい（社会的排除を含む）の実技指導（ロールプレイ・モデリング）	次回の講義内容をよく確認し、テキスト等を読んで講義科目の復習を行っておくこと（120分）。 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと（120分）。	
9	精神障がい（社会的排除を含む）の事例の理解	次回の講義内容をよく確認し、テキスト等を読んで講義科目の復習を行っておくこと（120分）。 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと（120分）。	
10	精神障がい（社会的排除を含む）の相談援助場面及び過程の理解	次回の講義内容をよく確認し、テキスト等を読んで講義科目の復習を行っておくこと（120分）。 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと（120分）。	
11	精神障がい（社会的排除を含む）の実技指導（ロールプレイ・モデリング）	次回の講義内容をよく確認し、テキスト等を読んで講義科目の復習を行っておくこと（120分）。 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと（120分）。	
12	高齢者（虐待を含む）の事例の理解	次回の講義内容をよく確認し、テキスト等を読んで講義科目の復習を行っておくこと（120分）。 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと（120分）。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	高齢者（虐待を含む）の相談援助場面及び過程の理解	次回の講義内容をよく確認し、テキスト等を読んで講義科目の復習を行っておくこと（120分）． 演習後は内容についての復習を行い，分からなかった専門用語等を調べておくこと（120分）．	
14	高齢者（虐待を含む）の実技指導（ロールプレイ・モデリング）	次回の講義内容をよく確認し、テキスト等を読んで講義科目の復習を行っておくこと（120分）． 演習後は内容についての復習を行い，分からなかった専門用語等を調べておくこと（120分）．	
15	ふり返りとまとめ	これまでの演習内容をふり返り復習を行っておくこと（120分）． 演習後は内容についての復習を行い，分からなかった専門用語等を調べておくこと．また今後の演習における自身の課題を整理すること（120分）．	

基本情報

科目名	相談援助演習
時間割コード	0223902004
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	増田 公香
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
増田 公香

詳細情報

授業の目的・到達目標	相談援助の知識と技術に係るほかの科目との関連性も視野に入れつつ、社会福祉士・精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について、次に掲げる方法を用いて、実践的に習得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができることをめざす。総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発に係る具体的な相談援助事例を体系的にとりあげること。個別指導並びに集団指導を通して、具体的な援助場面を想定した実技指導（ロールプレイング等）を中心とする演習形態により実施する。
履修上の注意事項	小集団による話し合いやグループワークを行うので、積極的に参加することを求める。本演習では、社会福祉士、精神保健福祉士の国家資格の取得を前提とし、専門職として就労することを目標にする学生が望ましい。また、指定された課題について、あらかじめ調べ準備を整え、不明な箇所については自身で調べ直す予習復習を求める。
評価方法	授業態度・発表の内容・技能習得状況が50%、予習復習による自主的学習態度・状況が10%、課題の内容・提出状況・学期末時の課題が40%による総合評価とする。
テキスト	講義時に紹介する
参考文献	講義時に紹介する
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	相談援助演習
時間割コード	0223902102
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	隈 直子
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
隈 直子

詳細情報

授業の目的・到達目標	社会福祉士・精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について、具体的な援助場面を想定した実技指導やグループワーク等を通して実践的に習得することができる。 総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発に係る具体的な相談援助事例を体系的に学ぶことで、相談援助を専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てることができる。 相談援助の知識と技術に係るほかの科目との関連性を把握できる。
履修上の注意事項	相談援助場面を想定したグループによる学習が中心となるので、積極的な姿勢で授業に参加することを求めます。 授業前には、次回授業の内容を確認し、資料や講義科目のテキスト等を読んでおくこと。わからない用語等があれば、下調べをしておく。授業に関連する文献や新聞、ニュースに目を通す。(120分) 授業後は、授業や話し合い等をふり返し、授業内容を整理する。わからない用語等があれば、講義科目のテキスト等を読み、確認する。(120分)
評価方法	授業態度・発表の内容・技能習得状況が50%、課題レポートおよび学期末時の課題が50%とします。
テキスト	なし
参考文献	授業時に紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	児童(虐待を含む)に関する事例の理解と実技指導		
2	児童(虐待を含む)に関する相談援助場面および相談援助過程の理解		
3	児童(虐待を含む)に関するアセスメントからプランニングまでの理解と実技		
4	ひとり親家庭・家庭内暴力(DV)に関する事例の理解と実技指導		
5	ひとり親家庭・家庭内暴力(DV)に関する相談援助場面および過程の理解		
6	ひとり親家庭・家庭内暴力(DV)に関するアセスメントからプランニングまでの理解と実技		
7	低所得者に関する事例の理解と実技指導		
8	低所得者に関する相談援助場面および過程の理解		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
9	低所得者に関するアセスメントからプランニングまでの理解と実技		
10	ホームレス・ニートに関する事例の理解と実技指導		
11	ホームレス・ニートに関する相談援助場面と過程の理解		
12	ホームレス・ニートに関するアセスメントからプランニングまでの理解と実技		
13	更生保護に関する事例の理解と相談援助場面および過程を想定した実技指導		
14	危機状態（権利擁護活動を含む）事例の理解と相談援助場面および過程を想定した実技指導		
15	振り返りとまとめ（面接からプランニングに至る過程の理解）		

基本情報

科目名	相談援助演習
時間割コード	0223902107
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	増田 公香
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
増田 公香

詳細情報

授業の目的・到達目標	社会福祉士・精神保健福祉士に求められる具体的な援助場面を想定した実技指導を通して、相談援助に係る知識や技術を実践的に習得することができる。 相談援助及び地域福祉の基盤整備と開発に係る具体的な相談援助事例を体系的に学ぶことで、相談援助を概念化、理論化し、体系立てて捉えることができる。 相談援助の知識と技術に係る他の科目との関連性を把握することができる。
履修上の注意事項	社会福祉士の相談援助場面を想定したグループによる学習が中心となるので、積極的な姿勢で授業に参加すること。授業の前には配布されている資料を熟読しておくこと。授業後は専門用語の確認と授業内容を振り返っておくこと。
評価方法	授業態度、積極的姿勢から20% 課題レポートの提出&内容から30% 試験から50%
テキスト	『ソーシャルワーク基本用語辞典』 2013年刊 川島書店
参考文献	必要に応じて配布、もしくは指示する
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	シラバスの説明、児童(虐待・貧困を含む) 事例の理解と実技指導		
2	児童(虐待・貧困を含む) 相談援助場面及び過程の理解		
3	児童(虐待・貧困を含む) アセスメントからプランニングまでの理解と実技		
4	ひとり親家庭・家庭内暴力(D.V) 事例の理解と実技指導		
5	ひとり親家庭・家庭内暴力(D.V) 相談援助場面及び過程の理解		
6	ひとり親家庭・家庭内暴力(D.V) アセスメントからプランニングまでの理解と実技		
7	低所得者 事例の理解とアセスメント		
8	低所得者 相談援助場面及び過程の理解		
9	低所得者 チームアプローチを活用したプランニング		
10	ホームレス・ニート 事例の理解とアセスメント		
11	ホームレス・ニート 相談援助場面及び過程の理解		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
12	ホームレス・ニート 社会資源の活用・調整・開発についての理解		
13	事例の理解と相談援助場面及び過程を想定した実技指導 更生保護		
14	事例の理解と相談援助場面及び過程を想定した実技指導 危機状態（権利擁護活動を含む）		
15	振り返りとまとめ（面接場面の理解、プランニングに至るまでの過程の理解）		

基本情報

科目名	相談援助演習
時間割コード	0223902109
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	田島 望
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
田島 望

詳細情報

授業の目的・到達目標	相談援助の知識と技術に係る他の科目との関連性も視野に入れつつ、社会福祉士・精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について、次に掲げる方法を用いて、実践的に習得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発に係る具体的な相談援助事例を体系的に学ぶ。具体的な援助場面を想定した実技指導（ロールプレイング等）やグループワークを中心とする演習形態にて実施し、必要な力量を獲得することができる。
履修上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・相談援助演習 を修得済であることを前提とする。 ・演習形態の授業であるため、各回のグループワークやロールプレイ等への主体的な参加（発言）を求めます。 ・次回の講義内容をよく確認し、テキスト等を読んで講義科目の復習を行っておくこと（60分）。 ・演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと（60分）。 ・講義を積み上げて、ねらいの達成、実習の充実を目指すため、出席は必須と考えてください。
評価方法	演習の参加態度と授業内の課題への取り組み（40%）、課題レポート（30%）、学期末総合課題（30%）により評価します。
テキスト	テキストは使用しません。必要な資料等は講義内にて、適宜紹介・配布します。
参考文献	講義内にて、適宜紹介します
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	事例の理解と相談援助過程及び場面を想定した実技指導 児童（虐待を含む）	講義内容をよく確認し、高齢者福祉論や児童副論等についてのテキスト等を読み直し講義科目の復習を行っておくこと（120分）。 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと。また実践における自身の課題を見出すこと（120分）。	
2	事例の理解と相談援助過程及び場面を想定した実技指導 児童（虐待を含む）	講義内容をよく確認し、高齢者福祉論や児童副論等についてのテキスト等を読み直し講義科目の復習を行っておくこと（120分）。 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと。また実践における自身の課題を見出すこと（120分）。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
3	事例の理解と相談援助過程及び場面を想定した実技指導 児童(虐待を含む)	講義内容をよく確認し、高齢者福祉論や児童副論等についてのテキスト等を読み直し講義科目の復習を行っておくこと(120分)。 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと。また実践における自身の課題を見出すこと(120分)。	
4	事例の理解と相談援助過程及び場面を想定した実技指導 ひとり親家庭・家庭内暴力(DV)	講義内容をよく確認し、高齢者福祉論や児童副論等についてのテキスト等を読み直し講義科目の復習を行っておくこと(120分)。 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと。また実践における自身の課題を見出すこと(120分)。	
5	事例の理解と相談援助過程及び場面を想定した実技指導 ひとり親家庭・家庭内暴力(DV)	講義内容をよく確認し、高齢者福祉論や児童副論等についてのテキスト等を読み直し講義科目の復習を行っておくこと(120分)。 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと。また実践における自身の課題を見出すこと(120分)。	
6	事例の理解と相談援助過程及び場面を想定した実技指導 ひとり親家庭・家庭内暴力(DV)	講義内容をよく確認し、高齢者福祉論や児童副論等についてのテキスト等を読み直し講義科目の復習を行っておくこと(120分)。 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと。また実践における自身の課題を見出すこと(120分)。	
7	事例の理解と相談援助過程及び場面を想定した実技指導 低所得者	講義内容をよく確認し、高齢者福祉論や児童副論等についてのテキスト等を読み直し講義科目の復習を行っておくこと(120分)。 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと。また実践における自身の課題を見出すこと(120分)。	
8	事例の理解と相談援助過程及び場面を想定した実技指導 低所得者	講義内容をよく確認し、高齢者福祉論や児童副論等についてのテキスト等を読み直し講義科目の復習を行っておくこと(120分)。 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと。また実践における自身の課題を見出すこと(120分)。	
9	事例の理解と相談援助過程及び場面を想定した実技指導 低所得者	講義内容をよく確認し、高齢者福祉論や児童副論等についてのテキスト等を読み直し講義科目の復習を行っておくこと(120分)。 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと。また実践における自身の課題を見出すこと(120分)。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
10	事例の理解と相談援助過程及び場面を想定した実技指導 ホームレス・ニート	講義内容をよく確認し，高齢者福祉論や児童副論等についてのテキスト等を読み直し講義科目の復習を行っておくこと（120分）． 演習後は内容についての復習を行い，分からなかった専門用語等を調べておくこと．また実践における自身の課題を見出すこと（120分）．	
11	事例の理解と相談援助過程及び場面を想定した実技指導 ホームレス・ニート	講義内容をよく確認し，高齢者福祉論や児童副論等についてのテキスト等を読み直し講義科目の復習を行っておくこと（120分）． 演習後は内容についての復習を行い，分からなかった専門用語等を調べておくこと．また実践における自身の課題を見出すこと（120分）．	
12	事例の理解と相談援助過程及び場面を想定した実技指導 ホームレス・ニート	講義内容をよく確認し，高齢者福祉論や児童副論等についてのテキスト等を読み直し講義科目の復習を行っておくこと（120分）． 演習後は内容についての復習を行い，分からなかった専門用語等を調べておくこと．また実践における自身の課題を見出すこと（120分）．	
13	事例の理解と相談援助過程及び場面を想定した実技指導 更生保護	講義内容をよく確認し，高齢者福祉論や児童副論等についてのテキスト等を読み直し講義科目の復習を行っておくこと（120分）． 演習後は内容についての復習を行い，分からなかった専門用語等を調べておくこと．また実践における自身の課題を見出すこと（120分）．	
14	事例の理解と相談援助過程及び場面を想定した実技指導 危機状態（権利擁護活動を含む）	講義内容をよく確認し，高齢者福祉論や児童副論等についてのテキスト等を読み直し講義科目の復習を行っておくこと（120分）． 演習後は内容についての復習を行い，分からなかった専門用語等を調べておくこと．また実践における自身の課題を見出すこと（120分）．	
15	ふり返りとまとめ	ここまでの演習内容の復習を行っておくこと（120分）． 演習後は今後の演習実習に向けた自身の課題を整理しておくこと（120分）．	

基本情報

科目名	相談援助演習
時間割コード	0223902202
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	田島 望
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
田島 望

詳細情報

授業の目的・到達目標	相談援助に係る他の科目との関連性も視野に入れつつ、社会福祉士・精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について、次に掲げる方法を用いて、実践的に習得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発に係る具体的な相談援助事例を体系的に学ぶ。具体的な援助場面を想定した実技指導(ロールプレイング等)やグループワークを中心とする演習形態にて実施し、必要な力量を獲得・実施することができる。
履修上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・相談援助演習 . . . を修得済であることを前提とする。 ・演習形態の授業であるため、各回のグループワークやロールプレイ等への主体的な参加(発言)を求めます。 ・次回の講義内容をよく確認し、テキスト等を読んで講義科目の復習を行っておくこと(120分)。 ・演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと(120分)。 ・講義を積みあげて、「ねらい」の達成、実習の充実を目指すため、出席は必須と考えてください。
評価方法	演習の参加態度と講義内の課題への取り組み(40%)、課題レポート(30%)、学期末総合課題(30%)により評価します。
テキスト	講義内にて、適宜紹介・配布します
参考文献	講義内にて、適宜紹介します。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	コミュニティワーク及びコミュニティソーシャルワークの理解	これまでの演習内容をふり返るとともに、テキスト等を読んで講義科目の復習を行っておくこと(120分) 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと(120分)	
2	コミュニティワークの展開過程の理解(地域問題との出会い・活動の準備・組織化等)	次回の講義内容をよく確認し、テキスト等を読んで講義科目(地域福祉論)の復習を行っておくこと(120分) 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと(120分)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
3	地域福祉の基盤整備と開発に係る事例を理解し，地域アセスメントの実技指導	次回の講義内容をよく確認し，テキスト等を読んで講義科目（地域福祉論）の復習を行っておくこと（120分） 演習後は内容についての復習を行い，分からなかった専門用語等を調べておくこと（120分）	
4	地域福祉の基盤整備と開発に係る事例を理解し，地域住民に対するニーズ把握の実技指導	次回の講義内容をよく確認し，テキスト等を読んで講義科目（地域福祉論）の復習を行っておくこと（120分） 演習後は内容についての復習を行い，分からなかった専門用語等を調べておくこと（120分）	
5	地域福祉の基盤整備と開発に係る事例から，地域住民に対するアウトリーチを理解	次回の講義内容をよく確認し，テキスト等を読んで講義科目（地域福祉論）の復習を行っておくこと（120分） 演習後は内容についての復習を行い，分からなかった専門用語等を調べておくこと（120分）	
6	地域住民に対するアウトリーチの実技指導	次回の講義内容をよく確認し，テキスト等を読んで講義科目（地域福祉論）の復習を行っておくこと（120分） 演習後は内容についての復習を行い，分からなかった専門用語等を調べておくこと（120分）	
7	地域福祉の基盤整備と開発に係る事例から，地域福祉（活動）計画の理解	次回の講義内容をよく確認し，テキスト等を読んで講義科目（地域福祉論）の復習を行っておくこと（120分） 演習後は内容についての復習を行い，分からなかった専門用語等を調べておくこと（120分）	
8	地域福祉（活動）計画の実技指導	次回の講義内容をよく確認し，テキスト等を読んで講義科目（地域福祉論）の復習を行っておくこと（120分） 演習後は内容についての復習を行い，分からなかった専門用語等を調べておくこと（120分）	
9	地域福祉の基盤整備と開発に係る事例から，ネットワーキングを理解	次回の講義内容をよく確認し，テキスト等を読んで講義科目（地域福祉論）の復習を行っておくこと（120分） 演習後は内容についての復習を行い，分からなかった専門用語等を調べておくこと（120分）	
10	ネットワーキングの実技指導	次回の講義内容をよく確認し，テキスト等を読んで講義科目（地域福祉論）の復習を行っておくこと（120分） 演習後は内容についての復習を行い，分からなかった専門用語等を調べておくこと（120分）	
11	地域福祉の基盤整備と開発に係る事例から，社会資源の活用・調整・開発を理解	次回の講義内容をよく確認し，テキスト等を読んで講義科目（地域福祉論）の復習を行っておくこと（120分） 演習後は内容についての復習を行い，分からなかった専門用語等を調べておくこと（120分）	
12	社会資源の活用・調整・開発の実技指導	次回の講義内容をよく確認し，テキスト等を読んで講義科目（地域福祉論）の復習を行っておくこと（120分） 演習後は内容についての復習を行い，分からなかった専門用語等を調べておくこと（120分）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	地域福祉の基盤整備と開発に係る事例から、サービス評価を理解	次回の講義内容をよく確認し、テキスト等を読んで講義科目（地域福祉論）の復習を行っておくこと（120分） 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと（120分）	
14	サービス評価の実技指導	次回の講義内容をよく確認し、テキスト等を読んで講義科目（地域福祉論）の復習を行っておくこと（120分） 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと（120分）	
15	ふり返りとまとめ	演習内容をふり返りの復習を行っておくこと（120分） 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと、また実習に向けた自身の課題を整理しておくこと（120分）	

基本情報

科目名	相談援助演習
時間割コード	0223902203
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	隈 直子
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名	
隈 直子	

詳細情報

授業の目的・到達目標	社会福祉士・精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について、具体的な援助場面を想定した実技指導やグループワーク等を通して実践的に習得することができる。 総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発に係る具体的な相談援助事例を体系的に学ぶことで、相談援助を概念化し理論化し体系立てることができる。 相談援助の知識と技術に係る他の科目との関連性を把握できる。
履修上の注意事項	・グループによる学習が中心となるので、積極的な姿勢で授業に参加することと、これまで学んできた相談援助演習・・・を活かして授業に取り組むことを求めます。 ・授業前には、次回授業で取り上げる内容について資料や関連する講義科目のテキスト等を読んでおく。わからない事項があれば、下調べをしておく。(120分) ・授業後には、授業内容をふり返り、分からなかった用語等があれば、講義科目のテキスト等を読み直し、確認する(120分)。
評価方法	授業態度・発表の内容・技能習得状況(50%)、課題レポート・学期末時の課題(50%)により評価します。
テキスト	なし
参考文献	授業内で紹介します。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	コミュニティワーク及びコミュニティソーシャルワークの理解		
2	コミュニティソーシャルワークの展開過程の理解(地域との出会い・活動準備・活動主体の組織化等)		
3	地域福祉の基盤整備と開発に係る事例の理解と実技指導 地域アセスメント		
4	地域福祉の基盤整備と開発に係る事例の理解と実技指導 地域住民に対するニーズ把握		
5	地域福祉の基盤整備と開発に係る事例から地域住民に対するアウトリーチの理解		
6	地域住民に対するアウトリーチの実技指導		
7	地域福祉の基盤整備と開発に係る事例から地域福祉(活動)計画の理解		
8	地域福祉(活動)計画の実技指導		
9	地域福祉の基盤整備と開発に係る事例からネットワーキングの理解		
10	ネットワーキングの実技指導		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
11	地域福祉の基盤整備と開発に係る事例から社会資源の活用・調整・開発の理解		
12	社会資源の活用・調整・開発の実技指導		
13	地域福祉の基盤整備と開発に係る事例からサービス評価の理解		
14	サービス評価の実技指導		
15	全体のふり返し、まとめ		

基本情報

科目名	相談援助演習
時間割コード	0223902208
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	増田 公香
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
増田 公香

詳細情報

授業の目的・到達目標	社会福祉士・精神保健福祉士に求められる具体的な援助場面を想定した実技指導を通して、相談援助に係る知識や技術を実践的に習得することができる。 相談援助及び地域福祉の基盤整備と開発に係る具体的な相談援助事例を体系的に学ぶことで、相談援助を概念化、理論化し、体系立てて捉えることができる。 相談援助の知識と技術に係る他の科目との関連性を把握することができる。
履修上の注意事項	グループによる学習が中心となるので、積極的な姿勢で授業に参加すること。 これまで学んできた相談援助演習・・・を活かしつつ、関連する領域の科目も視野に入れて事例等に取り組むこと。授業の前には配布されている資料を熟読しておくこと。授業後は専門用語の確認と授業内容を振り返っておくこと。
評価方法	授業態度、積極的姿勢から20% 課題レポートの提出&内容から30% 試験から50%
テキスト	『ソーシャルワーク基本用語辞典』 2013年刊 川島書店
参考文献	必要に応じて配布、もしくは指示する
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	コミュニティワーク及びコミュニティソーシャルワークの理解		
2	コミュニティワークの展開過程の理解(地域問題との出会い・活動の準備・組織化等)		
3	地域福祉の基盤整備と開発に係る事例の理解、地域アセスメントの実技指導		
4	地域福祉の基盤整備と開発に係る事例の理解、地域住民に対するニーズ把握の実技指導		
5	地域福祉の基盤整備と開発に係る事例から、地域住民に対するアウトリーチの理解		
6	地域福祉の基盤整備と開発に係る事例の振り返りから、CSWの役割理解		
7	地域福祉の基盤整備と開発に係る事例から、地域福祉(活動)計画の理解		
8	地域福祉(活動)計画の実技指導、地域福祉の基盤整備と活動主体の組織化の理解		
9	地域福祉の基盤整備と開発に係る事例から、ネットワーキングの理解		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
10	地域福祉の基盤整備と活動主体の組織化、ネットワーキングの学びの振り返りからCSWの役割理解		
11	地域福祉の基盤整備と開発に係る事例から、社会資源の活用・調整・開発の理解		
12	社会資源の活用・調整・開発に関する事例から地域福祉の理解の深化		
13	地域福祉の基盤整備と開発に係る事例から、サービス評価の理解		
14	サービス評価の実技指導、地域福祉の基盤整備と開発について理解の深化		
15	コミュニティソーシャルワーク、コミュニティワークの振り返り、体系の理解		

基本情報

科目名	介護概論
時間割コード	0223900501
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	前田 公江
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
前田 公江

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 介護の理念とその枠組みについて学習し、人間尊重と自立支援を目指した新しい介護の考え方を理解する。</p> <p>2. 歴史的展開を理解すると共に、現代社会における介護の在り方や関係職種間の連携の重要性について学ぶ。</p> <p>3. 介護援助における倫理および援助者としての基本的態度を身につけ、個々の利用者に応じた介護技術の在り方を探求する。</p> <p>4. 介護を通して「人間としての尊厳」や「その人らしい生き方」について学び、人間観や思考を深める。</p>
履修上の注意事項	<p>・授業前にテキストを読み、単元のキーワードについて調べてくること(90分)</p> <p>・授業後は必ず配布したプリントを復習し理解を深めること(60分)</p>
評価方法	毎回の授業の終わりに小レポートを提出、および講義・演習への参加意欲を20%加味し筆記試験80%で評価する。
テキスト	「新・社会福祉士養成講座13 高齢者に対する支援と介護保険制度」社会福祉士養成講座編集委員会編(中央法規出版)
参考文献	適宜、講義の中で紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
<p>1) 介護を取り巻く社会的背景について理解する</p> <p>2) 「介護」をどのように定義づけるか、介護の概念について考察する</p> <p>3) 介護の範囲の考え方を理解し求められる資質と専門性について考える</p> <p>4) 介護過程の仕組みを理解し、「自立に向けた介護」とは何かを考察する</p> <p>5) 地域で支える力と介護予防の重要性を理解する</p> <p>6) 認知症高齢者の対応方法について考える</p> <p>7) 高齢者の終末期の特徴を理解しケアのあり方を考える</p> <p>8) 事例検討を通して、実際の介護現場における問題を考える</p>

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	わが国の介護福祉の現状と動向・課題について	介護に専門性が求められる理由とは何か? 事前に考えてみよう	キーワード: わが国の医療・社会福祉の歴史
2	高齢者の生活実態と福祉・介護ニーズを理解する	身体面・心理面・社会面からのアプローチに必要な視点とは何か? 様々な介護ニーズを通してまとめよう	キーワード: 身体・心理・社会的アプローチ
3	介護従事者としての役割と実際	要介護者を支える仕組みにはどのような制度があるかを事前に調べてみよう	キーワード: 要介護者と要支援者
4	介護の概念や対象・範囲について	「その人らしさ」と「生活ニーズ」という言葉の意味を自分なりに考えてみよう	キーワード: 生活ニーズ
5	介護保険制度の仕組みとサービス体系について	わが国のサービス体系を理解し、その課題について考えよう	キーワード: 介護保険制度
6	地域で支える介護の必要性と介護予防の概念を理解する	地域で支える介護の意義と介護予防の種類について調べてみよう	キーワード: 地域包括ケアシステムと介護予防
7	高齢者の尊厳を支える介護を通して人間の尊厳と自立を考える	高齢者の尊厳を守るためにはどのような視点が必要かを考える	キーワード: 人間の尊厳

授業計画

- 1) 介護を取り巻く社会的背景について理解する
- 2) 「介護」をどのように定義づけるか、介護の概念について考察する
- 3) 介護の範囲の考え方を理解し求められる資質と専門性について考える
- 4) 介護過程の仕組みを理解し、「自立に向けた介護」とは何かを考察する
- 5) 地域で支える力と介護予防の重要性を理解する
- 6) 認知症高齢者の対応方法について考える
- 7) 高齢者の終末期の特徴を理解しケアのあり方を考える
- 8) 事例検討を通して、実際の介護現場における問題を考える

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
8	介護過程の概要と展開及び介護の技法について	利用者の真のニーズを捉えるコミュニケーション技法を学ぶ	キーワード：福祉介護従事者に必要なコミュニケーション技法
9	自立に向けた介護とは何かを考えよう ：その1	家事における介護にはどのようなものがあるか	キーワード：自立
10	自立に向けた介護とは何かを考えよう ：その2	身支度、移動、睡眠、食事、口腔衛生の介護にはどのようなものがあるか	キーワード：身体介護と家事支援
11	自立に向けた介護とは何かを考えよう ：その3	入浴、清潔、排泄の介護にはどのようなものがあるか	キーワード：介護の専門性
12	認知症ケアの概況：これからの認知症ケアのあり方と方向性	認知症患者の主な症状にはどのようなものがあるか？事前に調べてみよう	キーワード：認知症
13	死と終末期ケア：人間観と倫理から終末期ケアと死生観を考える	高齢者の終末期ケアの特徴を事前に調べてみよう	キーワード：終末期ケア
14	事例検討：実際の介護サービス計画を立ててみよう！	事例を通して介護サービス計画書の書き方を理解し、計画書作成において必要な視点を捉える	キーワード：介護サービス計画書
15	事例検討：認知症ケアの実際	認知症ケアにおいて自分自身が最も重要視したいことを事前に整理し、事例検討に臨むこと	キーワード：認知症ケア

基本情報

科目名	介護技術
時間割コード	0224100601
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	瀬川 綾
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名
瀬川 綾

詳細情報

授業の目的・到達目標	1. 介護に必要な基本的知識・技術を正しく理解し、実施できるようになる 2. 介護を必要とする人々の身体的・心理的状况に配慮し、自立を支援できるようになる 3. 生活支援技術(介護技術)におけるICFの意義と枠組みを理解できるようになる 4. 安全で安楽な基本的介護技術を展開できるようになる
履修上の注意事項	授業で使用する物品は忘れずに持参すること。 授業計画は多少前後することがある。
評価方法	筆記試験：80% 発表、積極的な授業態度：20%
テキスト	資料を配布します。
参考文献	適宜、講義の中で紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	准看護師として通所リハビリテーション、病院勤務経験 社会福祉士(医療ソーシャルワーカー)として病院勤務経験 現在、地域密着型通所介護にて機能訓練指導員として勤務

授業計画

授業計画
毎回の事前学習はその講義の内容についてテキストを熟読し、わからない語句等を調べておく(2時間) 毎回の事後学修は講義でわからない箇所を整理しておく、そして教科書等で自分で調べておく(2時間)

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	介護技術を学ぶにあつたての生活支援の理解		
2	介護技術を展開するためのICFの概念の理解とアセスメント方法論		
3	介護における基本的なコミュニケーション技術・記録と報告		
4	自立に向けた居住環境の整備・福祉用具の活用		
5	移動・移乗の介護技術		
6	移動・移乗の介護技術		
7	身じたくの介護技術		
8	衣服の着脱の介護技術		
9	食事の介護技術		
10	入浴・清潔保持の介護技術		
11	排泄の介護技術		
12	睡眠の介護技術・安楽と安寧の技法・終末期の介護		
13	認知症の介護		
14	介護技術を現場で提供する時に必要な「介護過程の展開」の考え方		
15	介護過程の展開の実際(事例検討)		

基本情報

科目名	介護の基本
時間割コード	1000630201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	馬場 敏彰
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名
馬場 敏彰

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 介護の歴史を踏まえ、介護問題の背景にある課題を理解し、介護にかかわる動向と介護福祉士の役割と機能を把握し介護の原理原則を学ぶ。</p> <p>2. 介護の社会化の形成過程の理解から介護福祉士の役割と活動について学び、専門職としての自覚を深める。</p> <p>3. 専門職としての介護福祉士の自覚と実践を展開できる視点と方法を身につける。</p>
履修上の注意事項	<p>事前学習として、単元のテキストを読み、疑問や質問を明確にしておくこと。(30分)</p> <p>事後学習として、講義中のノート・学びをまとめること。指示された課題に取り組むこと。(30分)</p>
評価方法	期末試験80% 課題提出10% 講義における積極性10%
テキスト	『介護の基本』『介護の基本』中央法規 最新版
参考文献	講義のなかで、適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	介護の歴史(介護福祉の形成を学ぶ意義)		
2	日本における介護の成り立ちから介護福祉形成の背景		
3	日本における介護の成り立ちから介護福祉形成の背景(明治・大正時代)		
4	日本における介護の成り立ちから介護福祉形成の背景(戦前・戦後)		
5	日本における介護の成り立ちから介護福祉形成の背景(老人福祉法制定)		
6	介護福祉を取り巻く近年の動向(新介護システム ADLとQOL)		
7	介護福祉を取り巻く近年の動向(自立支援に向けた尊厳と自己実現)		
8	介護福祉士の役割と機能を支えるしくみ(介護福祉士資格成立前史)		
9	介護福祉士の役割と機能(社会的役割としての介護ニーズ)		
10	介護福祉士の役割と機能(法的資格への期待)		
11	介護福祉士の役割と機能(史的における介護福祉士の役割の理解)		
12	介護福祉士の役割と機能(求められる介護福祉士に向けた知識・技術修得の意義)		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	介護福祉形成の理解 演習（「介護」の見方・考え方の変化）		
14	介護福祉形成の理解 演習（社会的に求められる専門的な介護）		
15	介護福祉形成から今後の介護福祉士の役割と課題		

基本情報

科目名	介護の基本
時間割コード	1000640201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	馬場 敏彰
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名
馬場 敏彰

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 尊厳ある介護の理解と、援助理念を学び、人権尊重の観点を踏まえて職業倫理を身につける。</p> <p>2. 人間の尊厳を支援する理念としてノーマライゼーション・利用者主体・プライバシーの保護・虐待防止等を学び、職業倫理を身につける。</p> <p>3. 介護福祉士が専門職として身につけておくべき、理念や職業倫理の理解を深めつつ、介護場面の援助関係構築の意義について学ぶ。</p>
履修上の注意事項	<p>事前学習として、単元のテキストを読み、疑問や質問を明確にしておくこと。(30分)</p> <p>事後学習として、講義中のノート・学びをまとめること。指示された課題に取り組むこと。(30分)</p>
評価方法	期末試験80% 課題提出10% 講義における積極性10%
テキスト	『介護の基本』『介護の基本』中央法規 最新版
参考文献	講義のなかで、適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	尊厳を支える介護とは		
2	利用者への生活支援と尊厳を支える介護		
3	生活支援に必要なノーマライゼーションとQ Lの考え方		
4	尊厳を支える介護の実際		
5	利用者主体の介護		
6	利用者主体の介護の実際		
7	事例を通して考える「利用者主体の介護」		
8	介護の倫理(職業倫理、介護従事者の倫理)		
9	介護福祉士にとって必要な「倫理」の理解		
10	倫理とプライバシー		
11	演習を通して考える「倫理とプライバシー」		
12	利用者の人権尊重の意義(介護場面における虐待の背景)		
13	介護に必要な人権尊重の考え方		
14	利用者の人権を尊重した介護の実際		
15	尊厳を支える介護の考え方<演習>		

基本情報

科目名	介護の基本
時間割コード	1000650201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	川俣 幹雄
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名
川俣 幹雄

詳細情報

授業の目的・到達目標	学修者は、介護職の立場からリハビリテーションの理念について説明できるようになる。また、障害とは何か、障害を持った方の家族支援の在り方や介護における多職種連携の在り方について説明できるようになる。
履修上の注意事項	各回の授業テーマと関連する教科書の該当箇所の予習・復習を徹底すること(120分)。演習問題は2回以上解いてください。
評価方法	期末試験70%、レポート等の日常的学習成果30%で評価する。レポートはコメントを通じてフィードバックする。
テキスト	介護福祉士養成講座編集委員会『介護の基本』『介護の基本』中央法規(最新版)
参考文献	適宜講義中に紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業教員名及び実務内容	川俣幹雄：理学療法士として実務経験あり

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	リハビリテーションとは?(川俣:理学療法士として病院勤務)	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
2	障害の理解(川俣:理学療法士として病院勤務)	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
3	ICFの概念(川俣:理学療法士として病院勤務)	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
4	介護を必要とする人の理解(小阪)	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
5	介護を必要とする人の理解2(小阪)	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
6	尊厳を考える～羞恥心を守る介護の重要性を通して～(小阪)	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
7	障がいと生活環境(小阪)	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
8	家族支援について(介護負担、虐待発生のメカニズム)(小阪)	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
9	家族支援について(家族支援の実際と精神的ケアの重要性)(小阪)	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
10	組織が職員に与える影響（小阪）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
11	リスクマネジメント、感染症対策の重要性と実際（小阪）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
12	多職種連携の重要性（小阪）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
13	アドバンスケアプランニングの重要性（小阪）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
14	人生の最終段階における介護福祉士の役割（小阪）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
15	これからの介護福祉士に求められるものとは何か（小阪）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	

基本情報

科目名	介護の基本
時間割コード	1000660201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	野島 謙一郎
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名
野島 謙一郎

詳細情報

授業の目的・到達目標	介護におけるリスクマネジメントの必要性を理解するとともに、安全確保のための基礎的な知識や事故への対応を理解し、介護従事者自身の健康管理や労働環境の管理について考える内容とする。
履修上の注意事項	講義前にテキストの当該箇所を一読してください。毎回ノートを取りましょう。参加者の知識・経験に合わせ適切に指導していきます。また、講義進捗や理解度を考慮し内容を変更することがあります。講義後の振り返りを各自行うようにしてください。
評価方法	試験結果70% 授業貢献度10% レポート20%
テキスト	最新・介護福祉士養成講座 4 介護の基本 (中央法規出版)
参考文献	授業中にて適宜紹介します。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	介護福祉士として高齢者・障害者の分野で勤務経験あり

授業計画

授業計画
事前・事後学修については毎回の授業後にレポートを提出すること。内容については、別途お知らせいたします。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	介護における安全の確保のリスクマネジメント		
2	介護福祉士の責務と安全の確保		
3	リスクマネジメントとは何か		
4	リスクマネジメントの重要性		
5	福祉サービスに求められる安全・安心		
6	事故防止のための対策		
7	身体拘束とリスクマネジメント		
8	介護福祉職に必要な感染に関する知識		
9	高齢者介護施設と感染対策		
10	感染症とリスクマネジメント		
11	健康管理の意義と目的		
12	こころの健康管理		
13	身体の健康管理		
14	労働環境の整備		
15	専門職業人としての介護福祉士		

基本情報

科目名	介護の基本
時間割コード	0224101701
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	瀬川 綾
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名
瀬川 綾

詳細情報

授業の目的・到達目標	介護福祉の基本となる理念や、地域を基盤とした生活の継続性を支援するための仕組みを理解し、介護福祉の専門職としての能力を養う。また、実際に現場で起こりうる事故を想定し、事故が起きないようにどう取り組むべきかを考える力を身に付ける。
履修上の注意事項	実際に現場で起こりうるであろう事故や感染についてどんなものがあるかを調べてくること。また、そのような事故を起こさないためには、どんなことに注意が必要なのかを考え、自分の意見をはっきり発言できるようにして下さい。
評価方法	試験60% 小テスト10% 発表20% 学習態度10%
テキスト	介護福祉士養成講座編集委員会編「新・介護福祉士養成講座4 介護の基本」
参考文献	特になし。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	准看護師として通所リハビリテーション、病院勤務経験 社会福祉士(医療ソーシャルワーカー)として病院勤務経験 現在、地域密着型通所介護にて機能訓練指導員として勤務

授業計画

授業計画
毎回の事前学習はその講義の内容についてテキストを熟読し、わからない語句等を調べておく(2時間) 毎回の事後学修は講義でわからない箇所を整理しておく、そして教科書等で自分で調べておく(2時間)

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	介護における安全の確保とリスクマネジメントの必要性を理解する		
2	安全の確保のための基礎的な知識を理解する		
3	ヒヤリハット・事故報告書の必要性を学び、事故が起こってしまった時の対応について理解する		
4	地域における生活支援の実践を学び、生活の多様性や社会との関わりを理解する		
5	介護サービスや地域連携など、フォーマル、インフォーマルな支援を理解する		
6	保健・医療・福祉に関する他職種の専門性や役割、機能を理解する		
7	チームマネジメントの必要性を理解する		
8	自立支援のための環境整備や介護予防、リハビリテーション等の対応について理解する		
9	地域における災害時等の介護福祉士の役割と機能を理解する		
10	利用者、家族間との信頼関係づくりの方法を学び、苦情処理の対応策を理解する		

授業計画

毎回の事前学習はその講義の内容についてテキストを熟読し、わからない語句等を調べておく（2時間）
 毎回の事後学修は講義でわからない箇所を整理しておく、そして教科書等で自分で調べておく（2時間）

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
11	感染症の種類、症状を学び、発生時の対応について理解する		
12	誤嚥予防のための食事介助を体験し、テクニックを学ぶ		
13	転倒、転落の予防策を理解する		
14	高齢者を詐欺などの被害から守るために必要な知識、対策を理解する		
15	介護従事者の健康管理や、労働環境の管理について理解する		

基本情報

科目名	介護の基本
時間割コード	0224101801
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	野島 謙一郎
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名
野島 謙一郎

詳細情報

授業の目的・到達目標	介護を必要とする人の生活を支援するという観点から、介護サービスや地域連携等 フォーマルサービス・インフォーマルサービスな支援を理解し、 多職種協働・連携を実践するために各専門職の専門性や役割を理解する内容とする。
履修上の注意事項	介護保険制度及び障害者総合支援法の制度理解を事前学習とします。また、講義進捗や理解度を考慮し内容を変更することがあります。
評価方法	試験結果70% 授業貢献度10% レポート20%
テキスト	新・介護福祉士養成講座 4 介護の基本 第3版 (中央法規出版)
参考文献	授業中にて適宜紹介します。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	介護福祉士として高齢者・障害者の分野で勤務経験あり

授業計画

授業計画
事前・事後学修については毎回の授業後にレポートを提出すること。内容については、別途お知らせいたします。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	介護従事者の心身の健康管理に関する意義・目的		
2	心の健康管理に関する理解		
3	心の健康管理～ストレス～		
4	心の健康管理～燃え尽き症候群等～		
5	身体の健康管理に関する理解		
6	身体の健康管理～感染予防と対策～		
7	身体の健康管理～腰痛の原因と対策～		
8	身体の健康管理～腰痛予防等～		
9	介護従事者の健康問題と労働環境		
10	介護従事者の労働安全		
11	介護職場の安全対策		
12	介護従事者の安全に関する法規の理解		
13	労働基準法の理解		
14	労働安全衛生法の理解		
15	まとめ		

基本情報

科目名	生活支援技術
時間割コード	1000680201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 5
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	馬場 敏彰
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名
馬場 敏彰

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. どのような障害や生活の困難さがあっても生活そのものが個人としての自立・自律するために必要な援助や支援を学ぶ。</p> <p>2. 生活の理解と支援の方法について、基本的な視点としてのICFの理解を深めると同時に介護サービス提供の対象や場を把握しながら、基本的な介護の知識・技術を養う。</p> <p>3. 生活の仕組みの理解を深め、生活支援の考え方としてICFの視点を身につける。</p>
履修上の注意事項	<p>事前学習として、単元のテキストを読み、疑問や質問を明確にしておくこと。(30分)</p> <p>事後学習として、講義中のノート・学びをまとめること。指示された課題に取り組むこと。(30分)</p>
評価方法	期末試験80% 課題提出10% 講義における積極性10%
テキスト	『生活支援技術』『生活支援技術』中央法規 最新版
参考文献	授業のなかで適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	生活支援に必要な生活の理解		
2	生活と生活習慣(生活の主体性)		
3	生活形成のプロセスとアイデンティティ		
4	生活の構成と要素		
5	事例を通して考える「生活形成のプロセス」		
6	生活の継続性		
7	生活支援が必要な人の理解(生活関連動作と日常生活)		
8	生活支援の理解		
9	生活支援の考え方(意義・目的)		
10	生活支援の考え方(生活障害による生活のしづらさ)		
11	生活支援とICFの視点		
12	ICFの視点にもとづく<アセスメント		
13	ICFにおける「活動・参加」		
14	利用者の生活と生活支援		
15	生活支援の実際		

基本情報

科目名	生活支援技術
時間割コード	0224102301
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 4, 火 5
開講区分	第1学期
単位数	4.0
学年	2
主担当教員	馬場 敏彰
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名
馬場 敏彰、吉岡 久美

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 生活支援の考え方について考えることができる。</p> <p>2. 自立支援の観点から、身じたく・移動・食事・排泄にかかわる基本的な態度と方法について学び、演習を通じて具体的な方法について理解を深めることができる。</p> <p>3. 利用者体験を通して、利用者の気持ちを考えることができる。</p>
履修上の注意事項	<p>演習では、決められた服装等を準備すること。</p> <p>事前学習として、単元のテキストを読み、疑問や質問を明確にしておくこと。(30分)</p> <p>事後学習として、講義中のノート・学びをまとめること。指示された課題に取り組むこと。(30分)</p>
評価方法	期末試験60%、実技試験20%、課題提出10% 講義における積極性10%
テキスト	『生活支援技術I』『生活支援技術II』中央法規 最新版
参考文献	適宜提示する。
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	身じたくの意義と目的		
2	身じたくに関する利用者のアセスメント		
3	生活習慣と装いの楽しみを支える介護		
4	整容行動、衣生活を調整するアセスメント		
5	身じたくの介助の留意点(洗面)		
6	身じたくの介助(整髪)		
7	身じたくの介助(髭剃り他)		
8	身じたくの介助(爪切り他)		
9	身じたくの介助(口腔ケア)見守り一部介助		
10	身じたくの介助(口腔ケア他)全介助		
11	身じたくの介助(衣服着脱介護他)一部介助		
12	身じたくの介助(衣服着脱介護他)全介助		
13	移動の意義と目的		
14	移動に関する利用者のアセスメント		
15	状態状況別留意点 上方・水平移動等演習)		
16	状態状況別留意点 上方・水平移動等演習)		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
17	状態状況別留意点 仰臥位から側臥位等）		
18	状態状況別留意点 起居から端座位等演習）		
19	状態状況別留意点 端座位から立位等演習）		
20	利用者の状態と状況に応じた移動介護の方法		
21	食事の意義・目的		
22	食事介護の留意点		
23	利用者の状態・状況に応じた食事介助の留意		
24	利用者の状態・状況に応じた食事介助の留意		
25	排泄介護の意義と目的（気持ちよい排泄）		
26	排泄介護の留意点（安全・的確な排泄介助）		
27	排泄介助の状態状況別留意点 見守り		
28	排泄介助の状態状況別留意点 一部介助		
29	排泄介助の状態状況別留意点 全介助		
30	入浴に関するアセスメントの視点と方法		

基本情報

科目名	生活支援技術
時間割コード	0224102501
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	4.0
学年	2
主担当教員	有馬 留以子
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名
有馬 留以子

詳細情報

授業の目的・到達目標	家庭生活に必要な基礎知識を学び、健康で自立した生活に必要なものは何かについて考えていく。施設や1人暮らしの高齢者が本人主体の生活を送るためにどのような生活支援をすればよいのか考えられるようにする。
履修上の注意事項	テキストを事前に学習すること。生活に関連する授業なので、新聞なども読むこと。
評価方法	期末テスト70%、作品30%
テキスト	介護福祉士養成講座編集委員会『生活支援技術』中央法規
参考文献	
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
<ul style="list-style-type: none"> ・事前 テキストを読んでおくこと。 ・事後 実習で習った事は家庭でできるだけ復習すること。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	自立した生活を支える家事		
2	家事の一連の流れ		
3	調理の意義		
4	調理の介助方法		
5	嚥下食・治療食の作り方		
6	食品の保存、衛生管理		
7	調理実習 調理の基本		
8	調理実習		
9	調理実習		
10	調理実習		
11	調理実習		
12	調理実習 蒸し器を使う		
13	調理実習 圧力鍋を使う		
14	調理実習 ミキサーを使う		
15	洗濯の意義		
16	洗濯の介助方法		
17	掃除・ゴミ捨ての介助		
18	裁縫		
19	衣類の衛生管理		
20	衣類の整理整頓		
21	寝具の衛生管理		
22	被服実習 基本的な縫い方		

授業計画

- ・事前
テキストを読んでおくこと。
- ・事後
実習で習った事は家庭でできるだけ復習すること。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
23	被服実習		
24	被服実習		
25	被服実習		
26	買い物の意義		
27	家庭経営、家計の管理		
28	多職種連携の必要性（在宅）		
29	多職種連携の必要性（施設）		
30	まとめ		

基本情報

科目名	生活支援技術
時間割コード	0224102601
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 3, 金 4
開講区分	第1学期
単位数	4.0
学年	3
主担当教員	馬場 敏彰
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名
馬場 敏彰

詳細情報

授業の目的・到達目標	利用者にとっての睡眠の確保と安眠への支援が、快適な生活の基本であることを学ぶ。「生」「死」とは何かを考え、人間の尊厳にかかわる「終末期」における医療と地域福祉との連携の必要性を理解し、介護福祉士としての役割を身につける。
履修上の注意事項	事前学習として、単元のテキストを読み、疑問や質問を明確にしておくこと。(30分) 事後学習として、講義中のノート・学びをまとめること。指示された課題に取り組むこと。(30分)
評価方法	期末試験80% 課題提出10% 講義における積極性10%
テキスト	『生活支援技術』中央法規
参考文献	『生活支援技術』適宜提示する。
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	心臓・呼吸機能低下傾向の人の生活理解		
2	心臓・呼吸機能低下傾向の人への介護方法		
3	腎臓機能、膀胱直腸低下傾向の人の生活理解		
4	腎臓機能、膀胱・直腸低下傾向の人への介護		
5	認知・知覚機能低下傾向の人への介護留意点		
6	認知・知覚機能低下傾向の人への介護方法		
7	精神障害の人の生活理解と介護方法		
8	精神障害の人への介護方法		
9	発達障害者支援技法		
10	重複障害(重症心身障害)への介護方法		
11	自立に向けた睡眠の介護(意義・目的)		
12	睡眠に関するICFの視点によるアセスメント		
13	安眠のための介護の留意点		
14	安眠のための介護の方法と工夫		
15	終末期の介護(意義・目的)		
16	終末期の介護(尊厳の保持)		
17	終末期におけるアセスメントの視点		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
18	ICfの視点にもとづく終末期のアセスメント		
19	終末期における医療との連携の意義と実際		
20	終末期における介護（援助の基本姿勢）		
21	終末期における介護（他職種との連携等）		
22	終末期における介護（具体的援助）		
23	臨終期の介護（症状の変化への援助）		
24	死別期の介護の留意点と方法 死後のケア含		
25	グリーフケア 意義・目的 援助者の役割等		
26	他の職種の役割と協働		
27	多職種間の連携と介護福祉士の役割		
28	一連の生活支援技術（施設生活）		
29	一連の生活支援技術（在宅生活）		
30	尊厳ある支援を提供するための方法の理解		

基本情報

科目名	相談援助実習指導
時間割コード	0223902601
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 2, 木 3
開講区分	第1学期
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	福崎 千鶴
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名	
福崎 千鶴	

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 相談援助実習の意義について理解できる。</p> <p>2. 個別指導並びに集団指導を受けて、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し、実践的な技術等を体得できる。</p> <p>3. 社会福祉士に求められる資質、技能、倫理、自己の学習課題等、総合的に対応できる能力を修得できる。</p> <p>4. 具体的な体験や援助活動を、専門援助技術として概念化し、理論化し、体系立てていく能力を涵養できる。</p>
履修上の注意事項	<p>相談援助実習は、これまでに講義や演習で学んできたことを基盤に総力で体験しながら学ぶものである。したがって、実習指導においてもソーシャルワーク論や福祉各論(児童、障害、高齢等の分野)等の再学習をしておくこと。</p> <p>また、実習先への事前訪問やボランティア活動等を通して理解を深め、事前学習にもさらに取り組み、相談援助の実践能力が涵養できるように予習を行うこと。</p>
評価方法	<p>指導に対する積極的応答と関与(30%)およびレポート提出とその内容(70%)の合計で評価する。レポートの内容については講義内で補足説明をしていく。</p>
テキスト	<p>『相談援助実習ハンドブック』関西福祉科学大学社会福祉実習教育モデル研究会編 ミネルヴァ書房(最新版)</p> <p>注) 相談援助実習指導 において購入済み</p>
参考文献	<p>随時、授業内で紹介する。</p>
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
<p>毎回の講義内で理解が不十分である専門用語や各種制度について、該当するテキストや用語辞典を用いて必ず確認すること。また重要な語句と制度は覚えることを求める。</p>	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	見学実習準備(事前学習の確認、指導)		
2	見学実習準備(事前学習の確認、指導)		
3	見学実習(サービスや利用者の理解)		
4	見学実習(サービスや利用者の理解)		
5	見学実習(サービスや利用者の理解)		
6	課題レポートの確認と事前学習指導		
7	実習先の理解(法的根拠、利用手続き等)		
8	実習先の理解(配置基準、主な業務内容等)		
9	アセスメント、支援プラン作成指導		
10	実習計画書作成(目的や意義、方法の指導)		
11	実習計画書(案)作成指導		
12	実習先への事前訪問指導		

授業計画

毎回の講義内で理解が不十分である専門用語や各種制度について、該当するテキストや用語辞典を用いて必ず確認すること。また重要な語句と制度は覚えることを求める。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	実習記録の方法や内容の記載指導		
14	個人情報保護や守秘義務の指導		
15	実習計画書(案)に基づいたレポート作成指導		
16	感染症および予防方法の理解		
17	実習計画書(案)に基づいたレポート作成指導		
18	実習課題の整理、三者協議事項指導		
19	三者協議時の実習内容・計画等の指導		
20	実習計画の再検討の指導		
21	実習中の連絡方法や必要書類等の指導		
22	巡回指導や実習中の諸注意事項の指導		
23	個別スーパービジョンにて実習の振り返り		
24	記録類を参考にした個別スーパービジョン		
25	総括レポート作成の指導		
26	総括レポート作成の指導と評価指導		
27	実習報告会の発表指導		
28	実習報告会での発表と相互研鑽指導		
29	実習報告会での発表と相互研鑽指導		
30	ジェネリックソーシャルワーク検討の指導		

基本情報

科目名	相談援助実習
時間割コード	0223902401
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	第1学期
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	橋本 眞奈美
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
橋本 眞奈美

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 相談援助実習を通して、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し実践的な技術を体得できる。</p> <p>2. 社会福祉士に求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を修得できる。</p> <p>3. 関連分野の専門職との連携のあり方及びその具体的内容を実践的に理解できる。</p>
履修上の注意事項	<p>・相談援助実習の履修にあたっては、先修科目を満たしておくことが最低条件であるが、相談援助実習指導 および相談援助実習指導 での指導内容、レポート等における実習先の事前学習内容を十分復習して履修すること。</p> <p>・実習は原則一か所の実習先で23日間、180時間以上の実習となり、3年次2～3月、あるいは4年次8～9月に配属する。実習前の体調管理には十分留意するとともに、積極的な予習を怠らないこと。</p>
評価方法	180時間(一日8時間・23日)以上の実習時間、実習日誌、実習終了レポートの内容(30%)および実習先の実習評価表等(70%)の合計で評価する。
テキスト	『談援助実習ハンドブック』関西福祉科学大学社会福祉実習教育モデル研究会編 ミネルヴァ書房(最新版)
参考文献	随時、紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
<p>健康診断等の方法により、学生が良好な健康状態にあることを確認したうえで配属実習を行わせる。</p> <p>実習指導教員は随時、実習先を訪問し、実習内容及び指導体制、実習中のリスク管理等を実習先と十分協議し、確認しあう。</p> <p>巡回指導や帰学指導等を通して、以下のア～クについて学生及び実習指導者との連絡調整を密に行い、学生の実習状況についての把握とともに実習中の個別指導を十分に行う。</p> <p>実習計画は、実習生・実習指導教員・実習指導者の三者で協議して作成する。</p> <p>ア.利用者やその関係者、施設・事業者・機関・団体等の職員、地域住民やボランティア等との基本的なコミュニケーションや人との付き合い方などの円滑な人間関係の形成を指導する。</p> <p>イ.利用者と必要とするサービスや支援の把握、及び支援計画の作成を指導する。</p> <p>ウ.利用者やその関係者(家族・親族・友人等)との援助関係の形成を指導する。</p> <p>エ.利用者やその関係者(家族・親族・友人等)への権利擁護および支援(エンパワメントを含む)とその評価方法を指導する。</p> <p>オ.多職種連携をはじめとする支援におけるチームアプローチの実際を理解させる。</p> <p>カ.社会福祉士としての職業倫理、施設・事業者・機関・団体等の職員の就業などに関する規定への理解と組織の一員としての役割と責任を理解するように指導する。</p> <p>キ.施設・事業者・機関・団体等の経営やサービスの管理運営の実際を理解するよう指導する。</p> <p>ク.当該実習先が地域社会の中の施設・事業者・機関・団体等であることの役割確認を含意したアウトリーチ、ネットワーキング、社会資源の活用・調整・開発に関して理解するよう指導する。</p>

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	相談援助実習
時間割コード	0223902403
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	第1学期
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	田島 望
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
田島 望

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 相談援助実習を通して、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し実践的な技術を体得できる。</p> <p>2. 社会福祉士に求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を修得できる。</p> <p>3. 関連分野の専門職との連携のあり方及びその具体的内容を実践的に理解できる。</p>
履修上の注意事項	<p>・相談援助実習の履修にあたっては、先修科目を満たしておくことが最低条件であるが、相談援助実習指導 および相談援助実習指導 での指導内容、レポート等における実習先の事前学習内容を十分復習して履修すること。</p> <p>・実習は原則一か所の実習先で23日間、180時間以上の実習となり、3年次2～3月、あるいは4年次8～9月に配属する。実習前の体調管理には十分留意するとともに、積極的な予習を怠らないこと。</p>
評価方法	180時間(一日8時間・23日)以上の実習時間、実習日誌、実習終了レポートの内容(30%)および実習先の実習評価表等(70%)の合計で評価する。
テキスト	テキスト 『談援助実習ハンドブック』関西福祉科学大学社会福祉実習教育モデル研究会編 ミネルヴァ書房(最新版)
参考文献	随時、紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
<p>健康診断等の方法により、学生が良好な健康状態にあることを確認したうえで配属実習を行わせる。 実習指導教員は随時、実習先を訪問し、実習内容及び指導体制、実習中のリスク管理等を実習先と十分協議し、確認しあう。 巡回指導や帰学指導等を通して、以下のア～クについて学生及び実習指導者との連絡調整を密に行い、学生の実習状況についての把握とともに実習中の個別指導を十分に行う。</p> <p>実習計画は、実習生・実習指導教員・実習指導者の三者で協議して作成する。</p> <p>ア.利用者やその関係者、施設・事業者・機関・団体等の職員、地域住民やボランティア等との基本的なコミュニケーションや人との付き合い方などの円滑な人間関係の形成を指導する。 イ.利用者や必要とするサービスや支援の把握、及び支援計画の作成を指導する。 ウ.利用者やその関係者(家族・親族・友人等)との援助関係の形成を指導する。 エ.利用者やその関係者(家族・親族・友人等)への権利擁護および支援(エンパワメントを含む)とその評価方法を指導する。 オ.多職種連携をはじめとする支援におけるチームアプローチの実際を理解させる。 カ.社会福祉士としての職業倫理、施設・事業者・機関・団体等の職員の就業などに関する規定への理解と組織の一員としての役割と責任を理解するように指導する。 キ.施設・事業者・機関・団体等の経営やサービスの管理運営の実際を理解するよう指導する。 ク.当該実習先が地域社会の中の施設・事業者・機関・団体等であることの意味確認を含意したアウトリーチ、ネットワーキング、社会資源の活用・調整・開発に関して理解するよう指導する。</p>

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	相談援助実習
時間割コード	0223902404
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	第1学期
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	隈 直子
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
隈 直子

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 相談援助実習を通して、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し実践的な技術を体得できる。</p> <p>2. 社会福祉士に求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を修得できる。</p> <p>3. 関連分野の専門職との連携のあり方及びその具体的内容を実践的に理解できる。</p>
履修上の注意事項	<p>・相談援助実習の履修にあたっては、先修科目を満たしておくことが最低条件であるが、相談援助実習指導 および相談援助実習指導 での指導内容、レポート等における実習先の事前学習内容を十分復習して履修すること。</p> <p>・実習は原則一か所の実習先で23日間、180時間以上の実習となり、3年次2～3月、あるいは4年次8～9月に配属する。実習前の体調管理には十分留意するとともに、積極的な予習を怠らないこと。</p>
評価方法	180時間(一日8時間・23日)以上の実習時間、実習日誌、実習終了レポートの内容(30%)および実習先の実習評価表等(70%)の合計で評価する。
テキスト	『談援助実習ハンドブック』関西福祉科学大学社会福祉実習教育モデル研究会編 ミネルヴァ書房(最新版)
参考文献	随時、紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
<p>健康診断等の方法により、学生が良好な健康状態にあることを確認したうえで配属実習を行わせる。</p> <p>実習指導教員は随時、実習先を訪問し、実習内容及び指導体制、実習中のリスク管理等を実習先と十分協議し、確認しあう。</p> <p>巡回指導や帰学指導等を通して、以下のア～クについて学生及び実習指導者との連絡調整を密に行い、学生の実習状況についての把握とともに実習中の個別指導を十分に行う。</p> <p>実習計画は、実習生・実習指導教員・実習指導者の三者で協議して作成する。</p> <p>ア.利用者やその関係者、施設・事業者・機関・団体等の職員、地域住民やボランティア等との基本的なコミュニケーションや人との付き合い方などの円滑な人間関係の形成を指導する。</p> <p>イ.利用者とその需要の把握及び支援計画の作成を指導する。</p> <p>ウ.利用者やその関係者(家族・親族・友人等)との援助関係の形成を指導する。</p> <p>エ.利用者やその関係者(家族・親族・友人等)への権利擁護および支援(エンパワメントを含む)とその評価方法を指導する。</p> <p>オ.多職種連携をはじめとする支援におけるチームアプローチの実際を理解させる。</p> <p>カ.社会福祉士としての職業倫理、施設・事業者・機関・団体等の職員の就業などに関する規定への理解と組織の一員としての役割と責任を理解するように導く。</p> <p>キ.施設・事業者・機関・団体等の経営やサービスの管理運営の実際を理解するよう指導する。</p> <p>ク.当該実習先が地域社会の中の施設・事業者・機関・団体等であることへの働きかけとしてのアウトリーチ、ネットワーキング、社会資源の活用・調整・開発に関して理解するよう指導する。</p>

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	相談援助実習
時間割コード	0223902408
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	第1学期
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	村本 浄司
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
村本 浄司

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 相談援助実習を通して、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し実践的な技術を体得できる。</p> <p>2. 社会福祉士に求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を修得できる。</p> <p>3. 関連分野の専門職との連携のあり方及びその具体的内容を実践的に理解できる。</p>
履修上の注意事項	<p>・相談援助実習の履修にあたっては、先修科目を満たしておくことが最低条件であるが、相談援助実習指導 および相談援助実習指導 での指導内容、レポート等における実習先の事前学習内容を十分復習して履修すること。</p> <p>・実習は原則一か所の実習先で23日間、180時間以上の実習となり、3年次2～3月、あるいは4年次8～9月に配属する。実習前の体調管理には十分留意するとともに、積極的な予習を怠らないこと。</p>
評価方法	180時間(一日8時間・23日)以上の実習時間、実習日誌、実習終了レポートの内容(30%)および実習先の実習評価表等(70%)の合計で評価する。
テキスト	『談援助実習ハンドブック』関西福祉科学大学社会福祉実習教育モデル研究会編 ミネルヴァ書房(最新版)
参考文献	随時、紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
<p>健康診断等の方法により、学生が良好な健康状態にあることを確認したうえで配属実習を行わせる。</p> <p>実習指導教員は随時、実習先を訪問し、実習内容及び指導体制、実習中のリスク管理等を実習先と十分協議し、確認しあう。</p> <p>巡回指導や帰学指導等を通して、以下のア～クについて学生及び実習指導者との連絡調整を密に行い、学生の実習状況についての把握とともに実習中の個別指導を十分に行う。</p> <p>実習計画は、実習生・実習指導教員・実習指導者の三者で協議して作成する。</p> <p>ア.利用者やその関係者、施設・事業者・機関・団体等の職員、地域住民やボランティア等との基本的なコミュニケーションや人との付き合い方などの円滑な人間関係の形成を指導する。</p> <p>イ.利用者が必要とするサービスや支援の把握、及び支援計画の作成を指導する。</p> <p>ウ.利用者やその関係者(家族・親族・友人等)との援助関係の形成を指導する。</p> <p>エ.利用者やその関係者(家族・親族・友人等)への権利擁護および支援(エンパワメントを含む)とその評価方法を指導する。</p> <p>オ.多職種連携をはじめとする支援におけるチームアプローチの実際を理解させる。</p> <p>カ.社会福祉士としての職業倫理、施設・事業者・機関・団体等の職員の就業などに関する規定への理解と組織の一員としての役割と責任を理解するように指導する。</p> <p>キ.施設・事業者・機関・団体等の経営やサービスの管理運営の実際を理解するよう指導する。</p> <p>ク.当該実習先が地域社会の中の施設・事業者・機関・団体等であることの役割確認を含意したアウトリーチ、ネットワーキング、社会資源の活用・調整・開発に関して理解するよう指導する。</p>

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	相談援助実習
時間割コード	0223902413
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	第1学期
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	福崎 千鶴
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名	
福崎 千鶴	

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 相談援助実習を通して、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し実践的な技術を体得できる。</p> <p>2. 社会福祉士に求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を修得できる。</p> <p>3. 関連分野の専門職との連携のあり方及びその具体的内容を実践的に理解できる。</p>
履修上の注意事項	<p>・相談援助実習の履修にあたっては、先修科目を満たしておくことが最低条件であるが、相談援助実習指導 および相談援助実習指導 での指導内容、レポート等における実習先の事前学習内容を十分復習して履修すること。</p> <p>・実習は原則一か所の実習先で23日間、180時間以上の実習となり、3年次2～3月、あるいは4年次8～9月に配属する。実習前の体調管理には十分留意するとともに、積極的な予習を怠らないこと。</p>
評価方法	180時間(一日8時間・23日)以上の実習時間、実習日誌、実習終了レポートの内容(30%)および実習先の実習評価表等(70%)の合計で評価する。
テキスト	『談援助実習ハンドブック』関西福祉科学大学社会福祉実習教育モデル研究会編 ミネルヴァ書房(最新版)
参考文献	随時、紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
<p>健康診断等の方法により、学生が良好な健康状態にあることを確認したうえで配属実習を行わせる。 実習指導教員は随時、実習先を訪問し、実習内容及び指導体制、実習中のリスク管理等を実習先と十分協議し、確認しあう。 巡回指導や帰学指導等を通して、以下のア～クについて学生及び実習指導者との連絡調整を密に行い、学生の実習状況についての把握とともに実習中の個別指導を十分に行う。</p> <p>実習計画は、実習生・実習指導教員・実習指導者の三者で協議して作成する。</p> <p>ア.利用者やその関係者、施設・事業者・機関・団体等の職員、地域住民やボランティア等との基本的なコミュニケーションや人との付き合い方などの円滑な人間関係の形成を指導する。</p> <p>イ.利用者や必要とするサービスや支援の把握、及び支援計画の作成を指導する。</p> <p>ウ.利用者やその関係者(家族・親族・友人等)との援助関係の形成を指導する。</p> <p>エ.利用者やその関係者(家族・親族・友人等)への権利擁護および支援(エンパワメントを含む)とその評価方法を指導する。</p> <p>オ.多職種連携をはじめとする支援におけるチームアプローチの実際を理解させる。</p> <p>カ.社会福祉士としての職業倫理、施設・事業者・機関・団体等の職員の就業などに関する規定への理解と組織の一員としての役割と責任を理解するように指導する。</p> <p>キ.施設・事業者・機関・団体等の経営やサービスの管理運営の実際を理解するよう指導する。</p> <p>ク.当該実習先が地域社会の中の施設・事業者・機関・団体等であることの役割確認を含意したアウトリーチ、ネットワーキング、社会資源の活用・調整・開発に関して理解するよう指導する。</p>	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	相談援助実習指導
時間割コード	0223902501
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	福崎 千鶴
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
福崎 千鶴

詳細情報

授業の目的・到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 相談援助実習の意義について理解できる。 2. 個別指導並びに集団指導を受けて、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し、実践的な技術等を体得できる。 3. 社会福祉士に求められる資質、技能、倫理、自己の学習課題等、総合的に対応できる能力を修得できる。 4. 具体的な体験や援助活動を、専門援助技術として概念化し、理論化し、体系立てていく能力を涵養できる。
履修上の注意事項	<p>相談援助実習は、これまでに講義や演習で学んできたことを基盤に総力で体験しながら学ぶものである。</p> <p>したがって、実習指導においてもソーシャルワーク論や福祉各論（児童、障害、高齢等の分野）等の再学習をしておくこと。</p> <p>また、課題レポートなどにも積極的に取り組み、実習の目的や意義をはじめ、相談援助の実践能力が涵養できるように予習を行うこと。</p>
評価方法	指導に対する積極的応答と関与(30%)およびレポート提出とその内容(70%)の合計で評価する。
テキスト	『相談援助実習ハンドブック』関西福祉科学大学社会福祉実習教育モデル研究会編 ミネルヴァ書房（最新版）
参考文献	随時、授業時に紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
毎回の講義内で理解が不十分である専門用語や各種制度について、該当するテキストや用語辞典を用いて必ず確認すること、また重要な語句や制度は覚えることを求める。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	実習指導マニュアルに基づき、実習関連科目や今後の指導スケジュールを確認し、理解する。		
2	実習の意義や目的、方法、留意点について理解する。		
3	福祉専門職に求められる資質と価値・倫理等の説明、見学実習の注意事項、事前学習内容の理解。		
4	障害者福祉分野の指導者からの講話を元に、その実践活動の実際と課題を理解する。		
5	児童福祉分野の指導者からの講話を元に、その実践活動の実際と課題を理解する。		
6	高齢者福祉分野の指導者からの講話を元に、その実践活動の実際と課題を理解する。		

授業計画

毎回の講義内で理解が不十分である専門用語や各種制度について、該当するテキストや用語辞典を用いて必ず確認すること、また重要な語句や制度は覚えることを求める。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	実習先の資料やレポート課題の学習を通して、各相談援助実践の場を理解する。		
8	地域福祉分野の指導者からの講話を元に、その実践活動の実際と課題を理解する。		
9	保健医療分野の指導者からの講話を元に、その実践活動の実際と課題を理解する。		
10	希望実習先の課題レポート作成を通して、その歴史や事業概要、サービス機能を理解する。		
11	希望実習先の課題レポート作成を通して、サービス利用の手続きや利用者を理解する。		
12	希望実習先の課題レポートを基に、実習に対する姿勢や準備について説明することができる。		
13	既実習者のソーシャルワーク報告会に参加し、ジェネリックソーシャルワークについて理解する。		
14	ソーシャルワーク報告会に参加し、実習先や事前学習の必要性を理解する。		
15	希望する実習先の理解。実習に向けて夏季休暇中の課題についての指導を基にレポートを作成する。		

基本情報

科目名	相談援助実習指導
時間割コード	0223902502
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	村本 浄司
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名	
村本 浄司	

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 相談援助実習の意義について理解できる。</p> <p>2. 個別指導並びに集団指導を受けて、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し、実践的な技術等を体得できる。</p> <p>3. 社会福祉士に求められる資質、技能、倫理、自己の学習課題等、総合的に対応できる能力を修得できる。</p> <p>4. 具体的な体験や援助活動を、専門援助技術として概念化し、理論化し、体系立てていく能力を涵養できる。</p>
履修上の注意事項	<p>相談援助実習は、これまでに講義や演習で学んできたことを基盤に総力で体験しながら学ぶものである。</p> <p>したがって、実習指導においてもソーシャルワーク論や福祉各論(児童、障害、高齢等の分野)等の再学習をしておくこと。</p> <p>また、課題レポートなどにも積極的に取り組み、実習の目的や意義をはじめ、相談援助の実践能力が涵養できるように予習を行うこと。</p>
評価方法	指導に対する積極的応答と関与(30%)およびレポート提出とその内容(70%)の合計で評価する。
テキスト	『相談援助実習ハンドブック』関西福祉科学大学社会福祉実習教育モデル研究会編 ミネルヴァ書房(最新版)
参考文献	随時、授業時に紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
毎回の講義内で理解が不十分である専門用語や各種制度について、該当するテキストや用語辞典を用いて必ず確認すること、また重要な語句や制度は覚えることを求める。	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	実習指導マニュアルに基づき、実習関連科目や今後の指導スケジュールを確認し、理解する。		
2	実習の意義や目的、方法、留意点について理解する。		
3	福祉専門職に求められる資質と価値・倫理等の説明、見学実習の注意事項、事前学習内容の理解。		
4	障害者福祉分野の指導者からの講話を元に、その実践活動の実際と課題を理解する。		
5	児童福祉分野の指導者からの講話を元に、その実践活動の実際と課題を理解する。		
6	高齢者福祉分野の指導者からの講話を元に、その実践活動の実際と課題を理解する。		
7	実習先の資料やレポート課題の学習を通して、各相談援助実践の場を理解する。		

授業計画

毎回の講義内で理解が不十分である専門用語や各種制度について、該当するテキストや用語辞典を用いて必ず確認すること、また重要な語句や制度は覚えることを求める。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
8	地域福祉分野の指導者からの講話を元に、その実践活動の実際と課題を理解する。		
9	保健医療分野の指導者からの講話を元に、その実践活動の実際と課題を理解する。		
10	希望実習先の課題レポート作成を通して、その歴史や事業概要、サービス機能を理解する。		
11	希望実習先の課題レポート作成を通して、サービス利用の手続きや利用者を理解する。		
12	希望実習先の課題レポートを基に、実習に対する姿勢や準備について説明することができる。		
13	既実習者のソーシャルワーク報告会に参加し、ジェネリックソーシャルワークについて理解する。		
14	既実習者のソーシャルワーク報告会に参加し、ジェネリックソーシャルワークについて理解する。		
15	希望する実習先の理解。実習に向けて夏季休暇中の課題についての指導を基にレポートを作成する。		

基本情報

科目名	相談援助実習指導
時間割コード	0223902506
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	橋本 眞奈美
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
橋本 眞奈美

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 相談援助実習の意義について理解できる。</p> <p>2. 個別指導並びに集団指導を受けて、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し、実践的な技術等を体得できる。</p> <p>3. 社会福祉士に求められる資質、技能、倫理、自己の学習課題等、総合的に対応できる能力を修得できる。</p> <p>4. 具体的な体験や援助活動を、専門援助技術として概念化し、理論化し、体系立てていく能力を涵養できる。</p>
履修上の注意事項	<p>相談援助実習は、これまでに講義や演習で学んできたことを基盤に総力で体験しながら学ぶものである。</p> <p>したがって、実習指導においてもソーシャルワーク論や福祉各論(児童、障害、高齢等の分野)等の再学習をしておくこと。</p> <p>また、課題レポートなどにも積極的に取り組み、実習の目的や意義をはじめ、相談援助の実践能力が涵養できるように予習を行うこと。</p>
評価方法	指導に対する積極的応答と関与(30%)およびレポート提出とその内容(70%)の合計で評価する。
テキスト	『相談援助実習ハンドブック』関西福祉科学大学社会福祉実習教育モデル研究会編 ミネルヴァ書房(最新版)
参考文献	随時、授業時に紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
毎回の講義内で理解が不十分である専門用語や各種制度について、該当するテキストや用語辞典を用いて必ず確認すること、また重要な語句や制度は覚えることを求める。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	実習指導マニュアルに基づき、実習関連科目や今後の指導スケジュールを確認し、理解する。		
2	実習の意義や目的、方法、留意点について理解する。		
3	福祉専門職に求められる資質と価値・倫理等の説明、見学実習の注意事項、事前学習内容の理解。		
4	障害者福祉分野の指導者からの講話を元に、その実践活動の実際と課題を理解する。		
5	児童福祉分野の指導者からの講話を元に、その実践活動の実際と課題を理解する。		
6	高齢者福祉分野の指導者からの講話を元に、その実践活動の実際と課題を理解する。		
7	実習先の資料やレポート課題の学習を通して、各相談援助実践の場を理解する。		

授業計画

毎回の講義内で理解が不十分である専門用語や各種制度について、該当するテキストや用語辞典を用いて必ず確認すること、また重要な語句や制度は覚えることを求める。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
8	地域福祉分野の指導者からの講話を元に、その実践活動の実際と課題を理解する。		
9	保健医療分野の指導者からの講話を元に、その実践活動の実際と課題を理解する。		
10	希望実習先の課題レポート作成を通して、その歴史や事業概要、サービス機能を理解する。		
11	希望実習先の課題レポート作成を通して、サービス利用の手続きや利用者を理解する。		
12	希望実習先の課題レポートを基に、実習に対する姿勢や準備について説明することができる。		
13	既実習者のソーシャルワーク報告会に参加し、ジェネリックソーシャルワークについて理解する。		
14	既実習者のソーシャルワーク報告会に参加し、ジェネリックソーシャルワークについて理解する。		
15	希望する実習先の理解。実習に向けて夏季休暇中の課題についての指導を基にレポートを作成する。		

基本情報

科目名	相談援助実習指導
時間割コード	0223902508
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	田島 望
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名	
田島 望	

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 相談援助実習の意義について理解できる。</p> <p>2. 個別指導並びに集団指導を受けて、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し、実践的な技術等を体得できる。</p> <p>3. 社会福祉士に求められる資質、技能、倫理、自己の学習課題等、総合的に対応できる能力を修得できる。</p> <p>4. 具体的な体験や援助活動を、専門援助技術として概念化し、理論化し、体系立てていく能力を涵養できる。</p>
履修上の注意事項	<p>相談援助実習は、これまでに講義や演習で学んできたことを基盤に総力で体験しながら学ぶものである。</p> <p>したがって、実習指導においてもソーシャルワーク論や福祉各論(児童、障害、高齢等の分野)等の再学習をしておくこと。</p> <p>また、課題レポートなどにも積極的に取り組み、実習の目的や意義をはじめ、相談援助の実践能力が涵養できるように予習を行うこと。</p>
評価方法	指導に対する積極的応答と関与(30%)およびレポート提出とその内容(70%)の合計で評価する。
テキスト	『相談援助実習ハンドブック』関西福祉科学大学社会福祉実習教育モデル研究会編 ミネルヴァ書房(最新版)
参考文献	随時、授業時に紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
毎回の講義内で理解が不十分である専門用語や各種制度について、該当するテキストや用語辞典を用いて必ず確認すること、また重要な語句や制度は覚えることを求める。	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	実習指導マニュアルに基づき、実習関連科目や今後の指導スケジュールを確認し、理解する。		
2	実習の意義や目的、方法、留意点について理解する。		
3	福祉専門職に求められる資質と価値・倫理等の説明、見学実習の注意事項、事前学習内容の理解。		
4	障害者福祉分野の指導者からの講話を元に、その実践活動の実際と課題を理解する。		
5	児童福祉分野の指導者からの講話を元に、その実践活動の実際と課題を理解する。		
6	高齢者福祉分野の指導者からの講話を元に、その実践活動の実際と課題を理解する。		
7	実習先の資料やレポート課題の学習を通して、各相談援助実践の場を理解する。		

授業計画

毎回の講義内で理解が不十分である専門用語や各種制度について、該当するテキストや用語辞典を用いて必ず確認すること、また重要な語句や制度は覚えることを求める。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
8	地域福祉分野の指導者からの講話を元に、その実践活動の実際と課題を理解する。		
9	保健医療分野の指導者からの講話を元に、その実践活動の実際と課題を理解する。		
10	希望実習先の課題レポート作成を通して、その歴史や事業概要、サービス機能を理解する。		
11	希望実習先の課題レポート作成を通して、サービス利用の手続きや利用者を理解する。		
12	希望実習先の課題レポートを基に、実習に対する姿勢や準備について説明することができる。		
13	既実習者のソーシャルワーク報告会に参加し、ジェネリックソーシャルワークについて理解する。		
14	既実習者のソーシャルワーク報告会に参加し、ジェネリックソーシャルワークについて理解する。		
15	希望する実習先の理解。実習に向けて夏季休暇中の課題についての指導を基にレポートを作成する。		

基本情報

科目名	相談援助実習指導
時間割コード	0223902510
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	隈 直子
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
隈 直子

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 相談援助実習の意義について理解できる。</p> <p>2. 個別指導並びに集団指導を受けて、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し、実践的な技術等を体得できる。</p> <p>3. 社会福祉士に求められる資質、技能、倫理、自己の学習課題等、総合的に対応できる能力を修得できる。</p> <p>4. 具体的な体験や援助活動を、専門援助技術として概念化し、理論化し、体系立てていく能力を涵養できる。</p>
履修上の注意事項	<p>・相談援助実習は、これまでに講義や演習で学んできたことを基盤に総力で体験しながら学ぶものである。本授業では、相談援助の実践能力が涵養できるよう積極的に取り組むこと。</p> <p>・授業前には、次回授業で取り上げる内容に応じ、ソーシャルワーク論や福祉各論（児童、障害、高齢等の分野）等の講義科目のテキストを読み直す。（120分）</p> <p>・授業後には、資料を読み直し、授業内容に関する文献や新聞等を調べ、内容を整理する。わからない事項があれば、テキスト等で確認する。（120分）</p>
評価方法	指導に対する積極的応答と関与(30%)および課題レポート提出とその内容(70%)の合計で評価する。
テキスト	『相談援助実習ハンドブック』関西福祉科学大学社会福祉実習教育モデル研究会編 ミネルヴァ書房（最新版）
参考文献	随時、授業時に紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
毎回の講義内で理解が不十分である専門用語や各種制度について、該当するテキストや用語辞典を用いて必ず確認すること、また重要な語句や制度は覚えることを求める。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	実習指導マニュアルに基づき、実習関連科目や今後の指導スケジュールを確認し、理解する。		
2	実習の意義や目的、方法、留意点について理解する。		
3	福祉専門職に求められる資質と価値・倫理等の説明、見学実習の注意事項、事前学習内容の理解。		
4	障害者福祉分野の指導者からの講話を元に、その実践活動の実際と課題を理解する。		
5	児童福祉分野の指導者からの講話を元に、その実践活動の実際と課題を理解する。		
6	高齢者福祉分野の指導者からの講話を元に、その実践活動の実際と課題を理解する。		

授業計画

毎回の講義内で理解が不十分である専門用語や各種制度について、該当するテキストや用語辞典を用いて必ず確認すること、また重要な語句や制度は覚えることを求める。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	実習先の資料やレポート課題の学習を通して、各相談援助実践の場を理解する。		
8	地域福祉分野の指導者からの講話を元に、その実践活動の実際と課題を理解する。		
9	保健医療分野の指導者からの講話を元に、その実践活動の実際と課題を理解する。		
10	希望実習先の課題レポート作成を通して、その歴史や事業概要、サービス機能を理解する。		
11	希望実習先の課題レポート作成を通して、サービス利用の手続きや利用者を理解する。		
12	希望実習先の課題レポートを基に、実習に対する姿勢や準備について説明することができる。		
13	既実習者のソーシャルワーク報告会に参加し、ジェネリックソーシャルワークについて理解する。		
14	既実習者のソーシャルワーク報告会に参加し、ジェネリックソーシャルワークについて理解する。		
15	希望する実習先の理解。実習に向けて夏季休暇中の課題についての指導を基にレポートを作成する。		

基本情報

科目名	相談援助実習指導
時間割コード	0223902601
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 2, 木 3
開講区分	第1学期
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	福崎 千鶴
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名	
福崎 千鶴	

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 相談援助実習の意義について理解できる。</p> <p>2. 個別指導並びに集団指導を受けて、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し、実践的な技術等を体得できる。</p> <p>3. 社会福祉士に求められる資質、技能、倫理、自己の学習課題等、総合的に対応できる能力を修得できる。</p> <p>4. 具体的な体験や援助活動を、専門援助技術として概念化し、理論化し、体系立てていく能力を涵養できる。</p>
履修上の注意事項	<p>相談援助実習は、これまでに講義や演習で学んできたことを基盤に総力で体験しながら学ぶものである。したがって、実習指導においてもソーシャルワーク論や福祉各論(児童、障害、高齢等の分野)等の再学習をしておくこと。</p> <p>また、実習先への事前訪問やボランティア活動等を通して理解を深め、事前学習にもさらに取り組み、相談援助の実践能力が涵養できるように予習を行うこと。</p>
評価方法	<p>指導に対する積極的応答と関与(30%)およびレポート提出とその内容(70%)の合計で評価する。レポートの内容については講義内で補足説明をしていく。</p>
テキスト	<p>『相談援助実習ハンドブック』関西福祉科学大学社会福祉実習教育モデル研究会編 ミネルヴァ書房(最新版)</p> <p>注) 相談援助実習指導 において購入済み</p>
参考文献	<p>随時、授業内で紹介する。</p>
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
<p>毎回の講義内で理解が不十分である専門用語や各種制度について、該当するテキストや用語辞典を用いて必ず確認すること。また重要な語句と制度は覚えることを求める。</p>	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	見学実習準備(事前学習の確認、指導)		
2	見学実習準備(事前学習の確認、指導)		
3	見学実習(サービスや利用者の理解)		
4	見学実習(サービスや利用者の理解)		
5	見学実習(サービスや利用者の理解)		
6	課題レポートの確認と事前学習指導		
7	実習先の理解(法的根拠、利用手続き等)		
8	実習先の理解(配置基準、主な業務内容等)		
9	アセスメント、支援プラン作成指導		
10	実習計画書作成(目的や意義、方法の指導)		
11	実習計画書(案)作成指導		
12	実習先への事前訪問指導		

授業計画

毎回の講義内で理解が不十分である専門用語や各種制度について、該当するテキストや用語辞典を用いて必ず確認すること。また重要な語句と制度は覚えることを求める。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	実習記録の方法や内容の記載指導		
14	個人情報保護や守秘義務の指導		
15	実習計画書(案)に基づいたレポート作成指導		
16	感染症および予防方法の理解		
17	実習計画書(案)に基づいたレポート作成指導		
18	実習課題の整理、三者協議事項指導		
19	三者協議時の実習内容・計画等の指導		
20	実習計画の再検討の指導		
21	実習中の連絡方法や必要書類等の指導		
22	巡回指導や実習中の諸注意事項の指導		
23	個別スーパービジョンにて実習の振り返り		
24	記録類を参考にした個別スーパービジョン		
25	総括レポート作成の指導		
26	総括レポート作成の指導と評価指導		
27	実習報告会の発表指導		
28	実習報告会での発表と相互研鑽指導		
29	実習報告会での発表と相互研鑽指導		
30	ジェネリックソーシャルワーク検討の指導		

基本情報

科目名	相談援助実習指導
時間割コード	0223902602
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 2, 木 3
開講区分	第1学期
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	田島 望
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
田島 望

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 相談援助実習の意義について理解できる。</p> <p>2. 個別指導並びに集団指導を受けて、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し、実践的な技術等を体得できる。</p> <p>3. 社会福祉士に求められる資質、技能、倫理、自己の学習課題等、総合的に対応できる能力を修得できる。</p> <p>4. 具体的な体験や援助活動を、専門援助技術として概念化し、理論化し、体系立てていく能力を涵養できる。</p>
履修上の注意事項	<p>相談援助実習は、これまでに講義や演習で学んできたことを基盤に総力で体験しながら学ぶものである。したがって、実習指導においてもソーシャルワーク論や福祉各論(児童、障害、高齢等の分野)等の再学習をしておくこと。</p> <p>また、実習先への事前訪問やボランティア活動等を通して理解を深め、事前学習にもさらに取り組み、相談援助の実践能力が涵養できるように予習を行うこと。</p>
評価方法	<p>指導に対する積極的応答と関与(30%)およびレポート提出とその内容(70%)の合計で評価する。レポートの内容については講義内で補足説明をしていく。</p>
テキスト	<p>『相談援助実習ハンドブック』関西福祉科学大学社会福祉実習教育モデル研究会編 ミネルヴァ書房(最新版)</p> <p>注) 相談援助実習指導 において購入済み</p>
参考文献	<p>随時、授業内で紹介する。</p>
実務経験のある教員による授業	<p>無</p>
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	課題レポートの確認と事前学習指導		
2	見学実習準備(事前学習の確認、指導)		
3	見学実習準備(事前学習の確認、指導)		
4	見学実習(サービスや利用者の理解)		
5	見学実習(サービスや利用者の理解)		
6	見学実習振り返り(学習課題の指導)		
7	実習先の理解(法的根拠、利用手続き等)		
8	実習先の理解(配置基準、主な業務内容等)		
9	アセスメント、支援プラン作成指導		
10	実習計画書作成(目的や意義、方法の指導)		
11	実習計画書(案)の策定指導		
12	実習先への事前訪問指導		
13	実習記録の方法や内容の記載指導		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	個人情報保護や守秘義務の指導		
15	実習計画書(案)に基づいたレポート作成指導		
16	感染症および予防方法の理解		
17	実習計画書(案)に基づいたレポート作成指導		
18	実習課題の整理、三者協議事項指導		
19	三者協議時の実習内容・計画等の指導		
20	実習計画の再検討の指導		
21	実習中の連絡方法や必要書類等の指導		
22	巡回指導や実習中の諸注意事項の指導		
23	個別スーパービジョンにて実習の振り返り		
24	記録類を参考にした個別スーパービジョン		
25	総括レポート作成の指導		
26	総括レポート作成の指導と評価指導		
27	実習報告会の発表指導		
28	実習報告会での発表と相互研鑽指導		
29	実習報告会での発表と相互研鑽指導		
30	ジェネリックソーシャルワーク検討の指導		

基本情報

科目名	相談援助実習指導
時間割コード	0223902603
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 2, 木 3
開講区分	第1学期
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	橋本 眞奈美
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
橋本 眞奈美

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 相談援助実習の意義について理解できる。</p> <p>2. 個別指導並びに集団指導を受けて、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し、実践的な技術等を体得できる。</p> <p>3. 社会福祉士に求められる資質、技能、倫理、自己の学習課題等、総合的に対応できる能力を修得できる。</p> <p>4. 具体的な体験や援助活動を、専門援助技術として概念化し、理論化し、体系立てていく能力を涵養できる。</p>
履修上の注意事項	<p>相談援助実習は、これまでに講義や演習で学んできたことを基盤に総力で体験しながら学ぶものである。したがって、実習指導においてもソーシャルワーク論や福祉各論(児童、障害、高齢等の分野)等の再学習をしておくこと。</p> <p>また、実習先への事前訪問やボランティア活動等を通して理解を深め、事前学習にもさらに取り組み、相談援助の実践能力が涵養できるように予習を行うこと。</p>
評価方法	<p>指導に対する積極的応答と関与(30%)およびレポート提出とその内容(70%)の合計で評価する。レポートの内容については講義内で補足説明をしていく。</p>
テキスト	<p>『相談援助実習ハンドブック』関西福祉科学大学社会福祉実習教育モデル研究会編 ミネルヴァ書房(最新版)</p> <p>注) 相談援助実習指導 において購入済み</p>
参考文献	<p>随時、授業内で紹介する。</p>
実務経験のある教員による授業	<p>有</p>
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
<p>毎回の講義内で理解が不十分である専門用語や各種制度について、該当するテキストや用語辞典を用いて必ず確認すること。また重要な語句と制度は覚えることを求める。</p>

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	見学実習準備(事前学習の確認、指導)		
2	見学実習準備(事前学習の確認、指導)		
3	見学実習(サービスや利用者の理解)		
4	見学実習(サービスや利用者の理解)		
5	見学実習振り返り(学習課題の指導)		
6	課題レポートの確認と事前学習指導		
7	実習先の理解(法的根拠、利用手続き等)		
8	実習先の理解(配置基準、主な業務内容等)		
9	アセスメント、支援プラン作成指導		
10	実習計画書作成(目的や意義、方法の指導)		
11	実習計画書(案)の策定指導		
12	実習先への事前訪問指導		

授業計画

毎回の講義内で理解が不十分である専門用語や各種制度について、該当するテキストや用語辞典を用いて必ず確認すること。また重要な語句と制度は覚えることを求める。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	実習記録の方法や内容の記載指導		
14	個人情報保護や守秘義務の指導		
15	実習計画書(案)に基づいたレポート作成指導		
16	感染症および予防方法の理解		
17	実習計画書(案)に基づいたレポート作成指導		
18	実習課題の整理、三者協議事項指導		
19	三者協議時の実習内容・計画等の指導		
20	実習計画の再検討の指導		
21	実習中の連絡方法や必要書類等の指導		
22	巡回指導や実習中の諸注意事項の指導		
23	個別スーパービジョンにて実習の振り返り		
24	記録類を参考にした個別スーパービジョン		
25	総括レポート作成の指導		
26	総括レポート作成の指導と評価指導		
27	実習報告会の発表指導		
28	実習報告会での発表と相互研鑽指導		
29	実習報告会での発表と相互研鑽指導		
30	ジェネリックソーシャルワーク検討の指導		

基本情報

科目名	相談援助実習指導
時間割コード	0223902604
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 2, 木 3
開講区分	第1学期
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	隈 直子
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
隈 直子

詳細情報

授業の目的・到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 相談援助実習の意義について理解できる。 2. 個別指導並びに集団指導を受けて、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し、実践的な技術等を体得できる。 3. 社会福祉士に求められる資質、技能、倫理、自己の学習課題等、総合的に対応できる能力を修得できる。 4. 具体的な体験や援助活動を、専門援助技術として概念化し、理論化し、体系立てていく能力を涵養できる。
履修上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相談援助実習は、これまでに講義や演習で学んできたことを基盤に総力で体験しながら学ぶものである。また、実習先への事前訪問やボランティア活動等を通して理解を深め、相談援助の実践能力が涵養できるように積極的に取り組むこと。 ・ 授業前には、次回授業で取り上げる内容について、ソーシャルワーク論や福祉各論(児童、障害、高齢等の分野)等を読み直す。わからない事項があれば下調べをし、発表の準備をする。(120分) ・ 授業後には、資料等を読み直し、授業内容を整理する。講義科目のテキスト等を読み返し、知識の定着を図る。(120分)
評価方法	指導に対する積極的応答と関与(30%)およびレポート提出とその内容(70%)の合計で評価する。レポートの内容については講義内で補足説明をしていく。
テキスト	『相談援助実習ハンドブック』関西福祉科学大学社会福祉実習教育モデル研究会編 ミネルヴァ書房(最新版) 注) 相談援助実習指導 において購入済み
参考文献	随時、授業内で紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	課題レポートの確認と事前学習指導		
2	見学実習準備(事前学習の確認、指導)		
3	見学実習準備(事前学習の確認、指導)		
4	見学実習(サービスや利用者の理解)		
5	見学実習(サービスや利用者の理解)		
6	見学実習振り返り(学習課題の指導)		
7	実習先の理解(法的根拠、利用手続き等)		
8	実習先の理解(配置基準、主な業務内容等)		
9	アセスメント、支援プラン作成指導		
10	実習計画書作成(目的や意義、方法の指導)		
11	実習計画書(案)の策定指導		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
12	実習先への事前訪問指導		
13	実習記録の方法や内容の記載指導		
14	個人情報保護や守秘義務の指導		
15	実習計画書(案)に基づいたレポート作成指導		
16	感染症および予防方法の理解		
17	実習計画書(案)に基づいたレポート作成指導		
18	実習課題の整理、三者協議事項指導		
19	三者協議時の実習内容・計画等の指導		
20	実習計画の再検討の指導		
21	実習中の連絡方法や必要書類等の指導		
22	巡回指導や実習中の諸注意事項の指導		
23	個別スーパービジョンにて実習の振り返り		
24	記録類を参考にした個別スーパービジョン		
25	総括レポート作成の指導		
26	総括レポート作成の指導と評価指導		
27	実習報告会の発表指導		
28	実習報告会での発表と相互研鑽指導		
29	実習報告会での発表と相互研鑽指導		
30	ジェネリックソーシャルワーク検討の指導		

基本情報

科目名	相談援助実習指導
時間割コード	0223902606
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	4.0
学年	3
主担当教員	福崎 千鶴
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
福崎 千鶴

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 相談援助実習の意義について理解できる。</p> <p>2. 個別指導並びに集団指導を受けて、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し、実践的な技術等を体得できる。</p> <p>3. 社会福祉士に求められる資質、技能、倫理、自己の学習課題等、総合的に対応できる能力を修得できる。</p> <p>4. 具体的な体験や援助活動を、専門援助技術として概念化し、理論化し、体系立てていく能力を涵養できる。</p>
履修上の注意事項	<p>相談援助実習は、これまでに講義や演習で学んできたことを基盤に総力で体験しながら学ぶものである。したがって、実習指導においてもソーシャルワーク論や福祉各論(児童、障害、高齢等の分野)等の再学習をしておくこと。</p> <p>また、実習先への事前訪問やボランティア活動等を通して理解を深め、事前学習にもさらに取り組み、相談援助の実践能力が涵養できるように予習を行うこと。</p>
評価方法	<p>指導に対する積極的応答と関与(30%)およびレポート提出とその内容(70%)の合計で評価する。レポートの内容については講義内で補足説明をしていく。</p>
テキスト	<p>『相談援助実習ハンドブック』関西福祉科学大学社会福祉実習教育モデル研究会編 ミネルヴァ書房(最新版)</p> <p>注) 相談援助実習指導 において購入済み</p>
参考文献	<p>随時、授業内で紹介する。</p>
実務経験のある教員による授業	<p>無</p>
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
<p>毎回の講義内で理解が不十分である専門用語や各種制度について、該当するテキストや用語辞典を用いて必ず確認すること、また重要な語句と制度は覚えることを求める。</p>

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	相談援助実習指導
時間割コード	0223902608
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	4.0
学年	3
主担当教員	橋本 眞奈美
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名	
橋本 眞奈美	

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 相談援助実習の意義について理解できる。</p> <p>2. 個別指導並びに集団指導を受けて、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し、実践的な技術等を体得できる。</p> <p>3. 社会福祉士に求められる資質、技能、倫理、自己の学習課題等、総合的に対応できる能力を修得できる。</p> <p>4. 具体的な体験や援助活動を、専門援助技術として概念化し、理論化し、体系立てていく能力を涵養できる。</p>
履修上の注意事項	<p>相談援助実習は、これまでに講義や演習で学んできたことを基盤に総力で体験しながら学ぶものである。したがって、実習指導においてもソーシャルワーク論や福祉各論(児童、障害、高齢等の分野)等の再学習をしておくこと。</p> <p>また、実習先への事前訪問やボランティア活動等を通して理解を深め、事前学習にもさらに取り組み、相談援助の実践能力が涵養できるように予習を行うこと。</p>
評価方法	<p>指導に対する積極的応答と関与(30%)およびレポート提出とその内容(70%)の合計で評価する。レポートの内容については講義内で補足説明をしていく。</p>
テキスト	<p>『相談援助実習ハンドブック』関西福祉科学大学社会福祉実習教育モデル研究会編 ミネルヴァ書房(最新版)</p> <p>注) 相談援助実習指導 において購入済み</p>
参考文献	<p>随時、授業内で紹介する。</p>
実務経験のある教員による授業	<p>無</p>
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
<p>毎回の講義内で理解が不十分である専門用語や各種制度について、該当するテキストや用語辞典を用いて必ず確認すること、また重要な語句と制度は覚えることを求める。</p>	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	課題レポートの確認と事前学習指導		
2	見学実習準備(事前学習の確認、指導)		
3	見学実習準備(事前学習の確認、指導)		
4	見学実習(サービスや利用者の理解)		
5	見学実習(サービスや利用者の理解)		
6	見学実習振り返り(学習課題の指導)		
7	実習先の理解(法的根拠、利用手続き等)		
8	実習先の理解(配置基準、主な業務内容等)		
9	アセスメント、支援プラン作成指導		
10	実習計画書作成(目的や意義、方法の指導)		
11	実習計画書(案)の策定指導		
12	実習先への事前訪問指導		

授業計画

毎回の講義内で理解が不十分である専門用語や各種制度について、該当するテキストや用語辞典を用いて必ず確認すること、また重要な語句と制度は覚えることを求める。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	実習記録の方法や内容の記載指導		
14	個人情報保護や守秘義務の指導		
15	実習計画書(案)に基づいたレポート作成指導		
16	感染症および予防方法の理解		
17	実習計画書(案)に基づいたレポート作成指導		
18	実習課題の整理、三者協議事項指導		
19	三者協議時の実習内容・計画等の指導		
20	実習計画の再検討の指導		
21	実習中の連絡方法や必要書類等の指導		
22	巡回指導や実習中の諸注意事項の指導		
23	個別スーパービジョンにて実習の振り返り		
24	記録類を参考にした個別スーパービジョン		
25	総括レポート作成の指導		
26	総括レポート作成の指導と評価指導		
27	実習報告会の発表指導		
28	実習報告会での発表と相互研鑽指導		
29	実習報告会での発表と相互研鑽指導		
30	ジェネリックソーシャルワーク検討の指導		

基本情報

科目名	介護実習
時間割コード	1000740201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	吉岡 久美
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名
馬場 敏彰、吉岡 久美

詳細情報

授業の目的・到達目標	通所施設や居宅施設を利用する日常生活援助が必要な人を知り、その介護の目的や機能並びに施設職員の役割について説明できる。
履修上の注意事項	実習前には、介護総合演習における事前学習を振り返ること。(60分) 実習終了後は、実習を振り返った報告書を見直し、自己課題を明確にしておくこと。(60分)
評価方法	施設指導者による評価 60% 実習担当教員による評価30% 実習への総合的な積極性 10%
テキスト	新) 介護福祉士養成講座編集『介護総合演習・介護実習』中央法規
参考文献	本学で作成した「介護実習要項」と「実習日誌」等
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	吉岡久美：看護師・管理者として病院勤務経験 訪問看護師・管理者として訪問看護ステーション勤務経験 介護教員として介護福祉士養成校勤務経験 馬場敏彰：介護福祉士として介護施設等勤務経験 介護教員として介護福祉士養成校勤務経験

授業計画

授業計画
<p>実習概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者とかかわることでその人を知り、講義、演習、学内実習で学んだ知識を基に介護ニーズを考える <p>5日間の実習を行うにあたり、実習先における実践に関する事前学習を毎日行い、その日に体験した実践を振り返り整理すること（事前事後学習を合わせて90分を目安とする）</p>

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	介護実習
時間割コード	1000750201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	吉岡 久美
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名
吉岡 久美

詳細情報

授業の目的・到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・学内で学んだ講義、演習、学内実習を基にして、施設実習に応用する。 ・生活障害を有する高齢者の施設を実習施設とし、要介護に応じて求められる介護技術の適正な使い方を身につけ、利用者の権利を尊重する態度を養う。 ・利用者の自立支援の観点から、利用者の全人的理解と福祉サービスの全体像を把握でき、適切な援助ができる能力を身につける。
履修上の注意事項	実習生として相応しい学修態度に留意し、実習中の課題に取り組むこと 実習前には、介護総合演習における事前学習を振り返ること(60分) 実習終了後は、実習を振り返った報告書を見直し、自己課題を明確にしておくこと(60分)
評価方法	施設評価60%、教員評価30%、その他10%
テキスト	新)介護福祉士養成講座編集『介護総合演習・介護実習』中央法規
参考文献	本学で作成した「介護実習要項」と「実習日誌」等
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	吉岡久美：看護師・管理者として病院勤務経験 訪問看護師・管理者として訪問看護ステーション勤務経験 介護教員として介護福祉士養成校勤務経験 馬場敏彰：介護福祉士として介護施設等勤務経験 介護教員として介護福祉士養成校勤務経験

授業計画

授業計画
実習概要 ・利用者への適正な介護技術が援助でき、カンファレンスの意義やありがた、連携の必要性を理解して積極的な参加ができる ・福祉機器や福祉用具の知識と活用を学ぶ 15日間の実習を行うにあたり、実習先における実践に関する事前学習を毎日行い、その日に体験した実践を振り返り整理すること (事前事後学習を合わせて90分を目安とする)

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	介護実習
時間割コード	0224104101
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	吉岡 久美
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名
馬場 敏彰、吉岡 久美

詳細情報

授業の目的・到達目標	講義・演習における学びを基本とし、高齢者および障がい者施設で生活する利用者を理解し、その介護を具体的にアセスメントする。また、日常生活に必要な支援技術を実践することで、介護技術を習得する。
履修上の注意事項	実習生としてふさわしい学習態度に留意し、実習中の課題に取り組むこと 実習前には、介護総合演習における事前学習を振り返ること(60分) 実習終了後は、実習を振り返った報告書を見直し、自己課題を明確にしておくこと(60分)
評価方法	施設評価：60% 教員評価：30% その他提出物等：10%
テキスト	介護福祉士養成講座編集「介護総合演習・介護実習」 中央法規
参考文献	本学で作成した「介護実習要項」と「実習日誌」等
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	吉岡久美：看護師・管理者として病院勤務経験 訪問看護師・管理者として訪問看護ステーション勤務経験 介護教員として介護福祉士養成校勤務経験 馬場敏彰：介護福祉士として介護施設等勤務経験 介護教員として介護福祉士養成校勤務経験

授業計画

授業計画
<p>実習の概要</p> <p>生活支援技術が必要な高齢者及び障害者の生活を夜間の状況を含めて理解する 適正な介護技術の提供のための利用者理解とアセスメントを行い、課題の抽出と目標の設定を行うことで、尊厳に基づいた個別性のある介護を考える カンファレンスの意義やあり方、連携の必要性を理解し、チームアプローチを学ぶ 15日間の実習を通してこれらを学習する</p> <p>15日間の実習を行うにあたり、実習先における実践に関する事前学習を毎日行い、その日に体験した実践を振り返り整理すること (事前事後学習を合わせて90分を目安とする)</p>

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	介護実習
時間割コード	0224104201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	吉岡 久美
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名
吉岡 久美

詳細情報

授業の目的・到達目標	福祉施設職員の組織を理解し、チームの一員として介護を遂行する能力を養う。
履修上の注意事項	実習生としてふさわしい学習態度に留意し、実習中の課題に取り組むこと 実習前には、介護総合演習における事前学習を振り返ること(60分) 実習終了後は、実習を振り返った報告書を見直し、自己課題を明確にしておくこと(60分)
評価方法	施設評価：60% 教員評価：30% その他提出物等：10%
テキスト	介護福祉士養成講座編集「介護総合演習・介護実習」 中央法規
参考文献	本学で作成した「介護実習要項」と「実習日誌」等
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	吉岡久美：看護師・管理者として病院勤務経験 訪問看護師・管理者として訪問看護ステーション勤務経験 介護教員として介護福祉士養成校勤務経験 馬場敏彰：介護福祉士として介護施設等勤務経験 介護教員として介護福祉士養成校勤務経験

授業計画

授業計画
<p>実習概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設運営のプログラムに参加し、福祉サービスについて理解する 施設の通所サービスの実際と入所との関係を知り、地域、家族、施設の関係について学ぶ <p>15日間の実習を行うにあたり、実習先における実践に関する事前学習を毎日行い、その日に体験した実践を振り返り整理すること(事前事後学習を合わせて90分を目安とする)</p>

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	介護実習
時間割コード	0224104301
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	吉岡 久美
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名
馬場 敏彰、吉岡 久美

詳細情報

授業の目的・到達目標	居宅介護、グループホーム等の実習を体験することにより、高齢者が住み慣れた住宅や地域の中で自己の能力を最大限に生かして、その人らしい生活が継続できるようにするための実践活動ができる。
履修上の注意事項	介護実習 を修了していること 実習前には、介護総合演習における事前学習を振り返ること。(60分) 実習終了後は、実習を振り返った報告書を見直し、自己課題を明確にしておくこと。(60分)
評価方法	施設指導者による評価:60% 実習担当教員による評価:30% 実習への総合的な積極性:10%
テキスト	新)介護福祉士養成講座編集『介護総合演習・介護実習』中央法規
参考文献	本学で作成した「介護実習要項」と「実習日誌」等
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	吉岡久美：看護師・管理者として病院勤務経験 訪問看護師・管理者として訪問看護ステーション勤務経験 介護教員として介護福祉士養成校勤務経験 馬場敏彰：介護福祉士として介護施設等勤務経験 介護教員として介護福祉士養成校勤務経験

授業計画

授業計画
<p>実習概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護、グループホーム等の実習を体験することで、高齢者や障害者が住み慣れた住宅や地域の中でその人らしい生活が継続できるようにするための実践活動を学ぶ ・居宅生活を支援する介護福祉士の役割を理解する <p>7日間の実習を行うにあたり、実習先における実践に関する事前学習を毎日行い、その日に体験した実践を振り返り整理すること(事前事後学習を合わせて90分を目安とする)</p>

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1			

基本情報

科目名	介護総合演習
時間割コード	1000720201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 5
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	吉岡 久美
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名	
馬場 敏彰、吉岡 久美	

詳細情報

授業の目的・到達目標	1.利用者とのコミュニケーションにより人間的な関わりを深めることで、利用者の生活について理解できることを学ぶ。 2.体験学習の意義、重要性について理解できる。 3.介護実習の意義、目的や利用者へのかかわり方について理解できる。
履修上の注意事項	大学における規定の出席回数を満たしていなければ評価対象としない。 事前学習として、講義で示している単元のテキストを読んでくること。(30分) 事後学習では、講義中にとったノートをまとめなおし、実習に向けた事前学習ノートを整理するとともに、課題に取り組むこと。(30分)
評価方法	演習への積極性、参加態度 60% 提出物(課題・レポート等) 40% 提出されたレポートにはコメントを入れて返却する
テキスト	介護福祉士養成講座編集委員会『介護総合演習・介護実習』中央法規
参考文献	適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	吉岡久美：看護師・管理者として病院勤務経験 訪問看護師・管理者として訪問看護ステーション勤務経験 介護教員として介護福祉士養成校勤務経験 馬場敏彰：介護福祉士として介護施設等勤務経験 介護教員として介護福祉士養成校勤務経験

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	介護実習の意義や目的、位置付けについて理解する 吉岡 ・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
2	実習施設の種類に関して知り、実習段階を理解する 吉岡 ・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
3	福祉施設(通所・居宅)の機能と職員の役割について理解する 吉岡 ・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
4	福祉施設(通所・居宅)利用者の特徴とコミュニケーション方法を理解する 吉岡 ・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
5	実習生としての心構え(マナーを含む)を知る 吉岡 ・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
6	介護実習における記録の必要性とその意義について理解する ・馬場 吉岡	事前に提示した資料を基に予習をすること と 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
7	実習に必要な書類について理解し、作成する ・馬場 吉岡	事前に提示した資料を基に予習をすること と 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
8	実習準備としての事前訪問について理解する ・馬場 吉岡	事前に提示した資料を基に予習をすること と 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
9	実習日誌の重要性を理解し、具体的方法を知る ・馬場 吉岡	事前に提示した資料を基に予習をすること と 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
10	介護実習の目的を明確化し、目標設定をする ・馬場 吉岡	事前に提示した資料を基に予習をすること と 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
11	介護実習の実践をイメージした行動計画を立案する ・馬場 吉岡	事前に提示した資料を基に予習をすること と 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
12	介護実習にむけた実習施設別の学習課題とその指導（個別指導） ・馬場 吉岡	事前に提示した資料を基に予習をすること と 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
13	介護実習 直前指導：目標設定の見直し、および施設理解を深める ・馬場 吉岡	事前に提示した資料を基に予習をすること と 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
14	介護実習 事後指導：自己の行動を客観的に振り返る ・馬場 吉岡	事前に提示した資料を基に予習をすること と 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
15	介護実習 事後指導：実習における目標の達成度の確認と学びの共有 ・馬場 吉岡	事前に提示した資料を基に予習をすること と 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	

基本情報

科目名	介護総合演習
時間割コード	1000730201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	吉岡 久美
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名	
吉岡 久美	

詳細情報

授業の目的・到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・学内で学んだ知識に基づいて利用者と関わりを深め、介護ニーズについて説明できる ・高齢者施設での機能や利用者の特徴について説明できる。 ・高齢者の日常生活援助に関する介護の目的や機能並びに施設職員の一般的な役割について説明できる。
履修上の注意事項	<p>規定の出席回数を満たしていなければ評価対象としない。 事前学習として、指示された項目を調べてまとめておくこと。(30分) 事後学習として、講義終了後にノートを整理し、指示された課題に取り組むこと。(30分)</p>
評価方法	<p>取り組み状況20% 授業態度40% 提出物(課題・レポート等)40%</p> <p>提出された課題レポートについてはコメントを入れて返却する</p>
テキスト	介護福祉士養成講座編集委員会『介護総合演習・介護実習』中央法規
参考文献	適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	<p>吉岡久美：看護師・管理者として病院勤務経験 訪問看護師・管理者として訪問看護ステーション勤務経験</p> <p>介護教員として介護福祉士養成校勤務経験</p> <p>馬場敏彰：介護福祉士として介護施設等勤務経験 介護教員として介護福祉士養成校勤務経験</p>

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	介護実習 を振り返り、高齢者施設での機能と福祉施設職員の役割を理解する 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
2	介護実習 の課題である、利用者の特徴とコミュニケーション方法を理解する 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
3	介護実習 の要項をもとに、課題の理解と心構えについて深める 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
4	介護施設における各職種の業務内容と連携について理解する 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
5	高齢者施設を利用する人の生活について考える 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
6	カンファレンスの種類を知り、実習カンファレンスの意義・方法を検討する 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	介護実習日誌の重要性の理解と具体的方法を知り実践することでその内容を検討する 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
8	介護実習での介護過程の展開（個別介護のための利用者情報獲得）方法を検討する 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
9	介護実習 の実習目標および行動計画を作成する（吉岡・馬場）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
10	介護実習 の実習目標および行動計画を見直して具体化する（吉岡・馬場）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
11	実習における自己評価項目を作成する（吉岡・馬場）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
12	実習の全体像、施設理解、利用者理解、生活支援技術実施を具体化する（吉岡・馬場）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
13	介護実習 の直前指導として課題を確認し、実習における行動・学習を検討する（吉岡・馬場）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
14	介護実習 を振り返り、課題を整理して報告書を作成する（吉岡・馬場）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
15	実習の学びと実践を発表し、共有しながら高齢者施設における介護を探求する（吉岡・馬場）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	

基本情報

科目名	介護総合演習
時間割コード	0224103601
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	吉岡 久美
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名
吉岡 久美

詳細情報

授業の目的・到達目標	1. 学習している知識に基づいて、日常生活に援助が必要な高齢者や障がい者の介護ニーズについて説明できる。 2. 高齢者や障がい者の日常生活介護の目的や機能並びに施設職員の役割について説明できる。 3. 日常生活上の支障ある部分に応じた生活支援技術の適正な技法を実践・説明できる。
履修上の注意事項	規定の出席回数を満たしていなければ評価対象としない シラバスを確認して、単元の事前学習と準備を行い、演習後には課題にとりくむこと 事前・事後学習に要する時間 計60分程度
評価方法	演習への積極性、参加態度：60% 提出物(課題・レポート等)：40% 提出されたレポートについてはコメントを入れて返却する
テキスト	介護福祉士養成講座編集委員会「介護総合演習・介護実習」 中央法規
参考文献	適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	吉岡久美：看護師・管理者として病院勤務経験 訪問看護師・管理者として訪問看護ステーション勤務経験 介護教員として介護福祉士養成校勤務経験 馬場敏彰：介護福祉士として介護施設等勤務経験 介護教員として介護福祉士養成校勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	障がい者支援施設の種類と特徴を理解する 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
2	障がい者支援施設の機能と職員の役割について理解する 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
3	障がいの特徴とコミュニケーション方法について考える(グループワーク)(馬場・吉岡)	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
4	障がい者支援施設における介護の役割を理解する 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
5	障がい者支援施設と地域、家族の連携について理解する 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
6	実習生としての自己覚知をする 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	チームワークを理解し、実習におけるチームの一員としての関わりを検討する 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
8	実習記録の重要性を再認識し、具体的記入方法を理解する 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
9	介護実習の目的から自己課題を明確にし、課題解決に向けた対策を考える 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
10	介護実習の実習目標を設定し、実践をイメージした行動計画を立案する（馬場・吉岡）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
11	実習目標および行動計画を見直して具体化する（馬場・吉岡）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
12	介護実習における自己評価項目を作成する（馬場・吉岡）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
13	介護実習の直前指導として課題を確認し、実習での行動と学習を検討する（馬場・吉岡）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
14	介護実習を振り返り、課題を整理して報告書を作成する（馬場・吉岡）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
15	介護実習における目標達成度の確認と学びの共有を発表を通して実践する（馬場・吉岡）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	

基本情報

科目名	介護総合演習
時間割コード	0224103701
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	吉岡 久美
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名
吉岡 久美

詳細情報

授業の目的・到達目標	1. 介護過程の展開を考え、個別介護について理解を深め、実践につなげることができる。 2. 施設職員の組織を理解し、チームの一員として介護業務を行う能力を養う。 3. 介護過程の展開を考え、個別介護について検討できる能力を獲得する。
履修上の注意事項	規定の出席回数を満たしていなければ評価対象としない シラバスを確認して、単元の事前学習と準備を行い、演習後には課題に取り組むこと 事前事後学習として90分程度
評価方法	演習への積極性、参加態度：60% 提出物(課題・レポート等)：40% 提出された課題レポートはコメントを入れて返却する
テキスト	介護福祉士養成講座編集委員会「介護総合演習・介護実習」 中央法規
参考文献	適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	吉岡久美：看護師・管理者として病院勤務経験 訪問看護師・管理者として訪問看護ステーション 勤務経験 介護教員として介護福祉士養成校勤務経験 馬場敏彰：介護福祉士として介護施設等勤務経験 介護教員として介護福祉士養成校勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	介護実習 を振り返り、施設や技術、利用者の理解を深める 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
2	介護実習 における学習について、その成果と不足点を分析する 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
3	介護実習 ~ から、自己の課題を明確にする 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
4	介護実習 の目的を理解し、日常生活が困難な方への技術の提供を検討する 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
5	入所施設と地域、家族の連携について、現状と課題を検討する(討議)(吉岡・馬場)	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
6	連続した生活支援について考え、生活課題を見出す方法を探る 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	介護実習 の目的から自己課題を明確にする 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
8	介護実習 の実習目標を設定し、行動計画を立案する 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
9	実習目標及び行動計画を具体化し、日々の行動計画を作成する（吉岡・馬場）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
10	実習課題である「介護福祉士の役割」について検討する（討議）（吉岡・馬場）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
11	チームアプローチについて考え、具体的な場面から介護の役割を見出す 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
12	介護実習における自己評価項目を作成する（吉岡・馬場）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
13	介護実習 の直前指導として課題確認し、実習での行動と学習を検討する（吉岡・馬場）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
14	介護実習 を振り返り、課題を整理して報告書を作成する（吉岡・馬場）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
15	介護実習 における目標達成度の確認と学びの共有を、発表を通して実践する（吉岡・馬場）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	

基本情報

科目名	介護総合演習
時間割コード	0224103801
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	吉岡 久美
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名
馬場 敏彰、吉岡 久美

詳細情報

授業の目的・到達目標	地域で生活する方のうち、生活困難を抱えた方々の課題とその支援について検討し、実際の援助方法を分析する力を身につける。 居宅介護、グループホーム等に関する制度を理解し、利用者の生活形態、家族関係を考慮した生活援助が説明できる。
履修上の注意事項	事前学習として、単元に関するテキストを読んでくること。 事後学習では、演習における課題に取り組むこと。 事前事後学習として90分程度
評価方法	演習への積極性、参加態度：60% 提出物(課題、レポート等)：40% 提出された課題レポートについてはコメントを入れて返却する
テキスト	新)介護福祉士養成講座編集『介護総合演習・介護実習』中央法規 最新版
参考文献	介護実習要項等
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	吉岡久美：看護師・管理者として病院勤務経験 訪問看護師・管理者として訪問看護ステーション勤務経験 介護教員として介護福祉士養成校勤務経験 馬場敏彰：介護福祉士として介護施設等勤務経験 介護教員として介護福祉士養成校勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	グループホームに関する制度と利用者の生活を理解する 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
2	在宅生活をする介護が必要な対象者の生活を理解する 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
3	在宅生活を支援する介護の専門性と実践を理解する 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
4	居宅支援に位置づけられる福祉サービスを理解する 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
5	居宅支援の実践者とその役割を理解する 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
6	居宅支援における介護福祉士の役割を探究する(グループワーク (吉岡・馬場))	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	居宅支援のチームアプローチにおける連携方法を考える 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
8	居宅支援の実践に必要な接遇等を考える 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
9	これまでの実習を振り返り、居宅支援の実施にむけた自己課題を明確化する 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
10	介護実習 の目的を明確化し、目標設定をする 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
11	介護実習 の行動計画を作成する（吉岡・馬場）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
12	実習施設の理解を深め、考えられる利用者像をもとに生活支援を検討する（吉岡・馬場）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
13	介護実習 の直前指導として、課題確認し実習での行動と学習を検討する（吉岡・馬場）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
14	介護実習 の目標達成状況を振り返り、自己評価して報告書作成する（吉岡・馬場）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
15	対象者理解、施設理解、生活支援技術の提供等について総合的にまとめる（吉岡・馬場）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	

基本情報

科目名	こころとからだのしくみ
時間割コード	0224000301
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	吉岡 久美
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第2群)

担当教員情報

教員名	
吉岡 久美	

詳細情報

授業の目的・到達目標	地域で生活する生活困難を抱えた方々への課題解決を見出すことができる力を身につけることを目的とする。 生活支援に必要な介護技術の根拠となる人体の構造や機能および生活援助サービスの提供における安全への留意 点や心理的側面への配慮について理解する学習とする。
履修上の注意事項	学則の出席規定を遵守すること。出席不足の学生は評価対象としない。 演習等をおりませながら授業展開するため、積極的に取り組み、課題提出期限を守ること。 期限を過ぎた提出物は評価対象としない。 事前学習として、講義で示している単元のテキストを読むこと。(30分) 事後学習では、講義中にとったノートをまとめなおし、課題に取り組むこと。(30分)
評価方法	筆記試験 80% 演習参加状況、課題提出 20% 課題にはコメントを入れて返却する
テキスト	介護福祉士養成講座編集委員会編集『こころとからだのしくみ』中央法規出版
参考文献	講義中、適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	吉岡久美：看護師として病院勤務経験、管理職経験 訪問看護師として訪問看護ステーション勤務経験 介護教員として介護福祉士養成課程(専修学校)勤務経験

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	人体の構造と機能、障害や認知症を理解し、生活機能低下における生活行動への影響を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
2	身じたくに関連した身体機能の名称および役割と、心理的影響を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
3	身体や認知機能低下・障害が及ぼす整容行動への影響、生活場面での変化の気づきと連携を学ぶ。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
4	身じたくに関連したこころとからだのしくみを理解する。(事例をととした演習による理解)	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
5	移動に関連した身体機能の名称および役割と、心理的影響を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
6	身体や認知機能低下・障害が及ぼす移動への影響と、生活場面における変化の気づきと連携を学ぶ。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
7	移動に関連したところとからだのしくみを理解する。（事例をとおした演習による理解）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
8	食事に関連した身体機能の名称および役割と、心理的影響を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
9	食べることに関連したところとからだのしくみを理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
10	身体や認知機能低下・障害が及ぼす食事への影響と、生活場面における変化の気づきと連携を学ぶ。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
11	食事に関連したところとからだのしくみを理解する。（事例をとおした演習による理解）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
12	排泄に関連した身体機能の名称および役割と、心理的影響を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
13	身体や認知機能低下・障害が及ぼす排泄への影響と、生活場面における変化の気づきと連携を学ぶ。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
14	排泄に関連したところとからだのしくみを理解する。（事例をとおした演習による理解）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
15	身じたく・移動・食事・排泄、認知症状の理解と心理的变化の理解を統合した支援の視点を学ぶ。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	

基本情報

科目名	こころとからだのしくみ
時間割コード	0224000401
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	吉岡 久美
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第2群)

担当教員情報

教員名	
吉岡 久美	

詳細情報

授業の目的・到達目標	地域で生活する方々の生活困難課題を見出し、適切な支援について検討する力を身につけることを目的とする。 介護技術の根拠となる人体の構造や機能及び介護サービスの提供における安全への留意点や心理的側面への配慮について理解する学習とする。
履修上の注意事項	事前学習として、講義で示している単元のテキストを読むこと。(30分) 事後学習では、講義中にとったノートをまとめなおし、課題に取り組むこと。(30分) 授業内ではディスカッション・ディベート等、話し合い活動を取り入れることが多い。 積極的に参加し、自らの考えを伝え、支援の方向性を見出すこと。
評価方法	原則として筆記試験(60%)、積極性及び小レポート(40%)を評価の対象とする。 提出されたレポートにはコメントを入れて返却する。
テキスト	介護福祉士養成講座編集委員会編集 最新介護福祉士養成講座「こころとからだのしくみ」 中央法規
参考文献	
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	【吉岡】 大学病院(看護師)、一般病院(看護師長)、訪問看護ステーション(訪問看護師・管理者)、 介護福祉士養成校教員(高齢者科目担当)他 【小阪】 介護支援専門員 社会福祉士 介護福祉士 として、高齢者施設や病院にて勤務 【石本】 介護支援専門員 介護福祉士として、高齢者施設にて勤務

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	人体の構造と機能、障害や認知症を理解し、生活機能低下における生活行動への影響を理解する(吉岡)	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
2	入浴・清潔に関連した身体機能の名称・役割と心理的影響(小阪)	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
3	身体や認知機能低下・障害が及ぼす入浴行動への影響と変化(小阪)	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
4	入浴に関連した仕組みの理解(石本)	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
5	清潔に関連した身体機能の名称・役割と影響(小阪)	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
6	身体・認知機能低下・障害が及ぼす清潔行動への影響（小阪）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
7	清潔に関連した仕組みの理解（石本）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
8	睡眠に関連した身体機能の名称及び役割と心理的影響（吉岡）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
9	身体・認知機能低下・障害が及ぼす睡眠への影響（小阪）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
10	睡眠に関連した仕組みの理解（石本）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
11	終末期と法的な死の理解（石本）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
12	死のプロセスと変化の理解（吉岡）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
13	ターミナルケアの介護の役割と家族支援（小阪）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
14	グリーフケアの理解と死生観の検討（吉岡）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
15	生活に欠かせない行動における支援の特徴（吉岡）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	

基本情報

科目名	発達と加齢現象
時間割コード	1000610201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	未定
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第2群)

担当教員情報

教員名
未定

詳細情報

授業の目的・到達目標	一般心理学の基礎理論・技術をベースに、高齢者への心理的援助のあり方を理解できること。特に発達心理学・認知心理学及び老年学(ジェロントロジー)の視点を入れながら高齢者の理解や加齢現象に伴う問題及び心理的問題に対する対応方法について理解できるようにする。
履修上の注意事項	主に高齢者の加齢現象について、新聞や文献等で事前に学習しておくこと。さらに生涯発達の観点から、高齢期の位置づけなどについて復習すること。
評価方法	単位認定試験:100点満点で評価する。
テキスト	未使用
参考文献	適宜、指示していく。
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	生涯発達心理学とエイジング心理学		
2	ジェロントロジーと生涯発達		
3	発達段階と課題		
4	高齢者を含む心理学的人間理解		
5	高齢期のサクセスフル・エイジングと生きがい		
6	高齢者の健康(体力と機能)		
7	感覚・知覚のエイジング		
8	記憶・学習のエイジング		
9	認知・知能のエイジング		
10	性格・感情のエイジング		
11	家族との関係		
12	社会・仕事との関係		
13	心理的問題への理解		
14	認知症への理解		
15	まとめ:生涯発達の観点から加齢を理解し、高齢者の心理や機能の変化に関する知識を総括する		

基本情報

科目名	障害の理解
時間割コード	0224102901
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	水間 宗幸
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名	
水間 宗幸	

詳細情報

授業の目的・到達目標	障害の捉え方の変化、障害者支援の全体像を踏まえながら、主な障害種類について身体機能や心理機能の問題、障害特性を学習し、医学的側面、心理的側面から各障害の基礎的事項を理解できる。
履修上の注意事項	「介護福祉士」国家試験を受験する場合の指定科目「障害の理解」は、本学においては「障害者福祉論」とこの「障害の理解」を併せたものとなりますから、両方を履修しなければなりません。各回の講義テーマについて、事前の学習、事後の振り返り学習が求められます。予習45分、復習45分、計90分を目安とします。
評価方法	試験80%、授業中の質問への応答20%とする。フィードバックについては、模範解答を示し、希望者には個別に評価内容を伝える。
テキスト	「介護福祉士養成講座14 障害の理解」 介護福祉士養成講座編集委員会 編集 中央法規
参考文献	適宜、紹介する
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション		
2	"障害"概念の理解		
3	視覚障害(種類、原因、障害特性、支援の課題)		
4	聴覚障害(種類、原因、障害特性、支援の課題)		
5	肢体不自由(種類、原因、障害特性、支援の課題)		
6	中途障害と心理的適応		
7	難病(種類、原因、特性、支援の課題)		
8	内部障害(種類、原因、障害特性、支援の課題)		
9	高次脳機能障害(種類、障害特性、支援の課題)		
10	精神障害(種類、障害特性、支援の種類)		
11	知的障害(種類、障害特性、支援の課題)		
12	発達障害(種類、障害特性、支援の課題)		
13	障害児・者の支援のためのアセスメント		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	障害児・者の心理的支援		
15	まとめ、”障害”をめぐる新しい動き		

基本情報

科目名	福祉科教育法
時間割コード	0229001201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	未定
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
未定

詳細情報

授業の目的・到達目標	福祉教育の意義や必要性を学び、教員の専門的能力・資質について考察する。実際の教員の事例を通して学び、目指す理想の教師像を具体的にイメージできるようになる。高等学校学習指導要領を参考に、授業の教材研究や教育方法の実践について学ぶ。
履修上の注意事項	授業へ積極的に取り組み、主体性を持って意欲的に自ら学ぶ姿勢を評価する。よって、予習・復習や授業中の態度や定期試験を重視する。
評価方法	定期試験80% 質疑応答、模擬授業、レポート、出席率20%
テキスト	藤田久美編『アクティブラーニングで学ぶ福祉科教育法』（2017）一藝社
参考文献	保住芳美編『高等学校学習指導要領の展開 福祉科編』（2010）明治図書
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	福祉教育の必要性と意義		
2	福祉科設置の経緯と福祉科の実際		
3	ボランティア活動を通して学ぶ福祉		
4	高校福祉科の生徒の姿		
5	高校福祉科の教員の仕事		
6	専攻科の教育と可能性		
7	高校教員からの声		
8	福祉科教員からのメッセージ		
9	高校福祉科の教育目標と教科		
10	高校福祉科の教育目標と教科		
11	模擬授業と評価		
12	模擬授業と評価		
13	学修指導案の作成		
14	学修指導案の作成		
15	福祉科の授業における教材研究のポイント		

基本情報

科目名	福祉科教育法
時間割コード	0229001301
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	未定
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
未定

詳細情報

授業の目的・到達目標	教育実習の準備、実習後の学習を主体的に行い、教員としての能力・資質について学びを深める。 地域社会で福祉教育の企画・立案をする際のポイントを理解する。
履修上の注意事項	授業へ積極的に取り組み、主体性を持って意欲的に学ぶ姿勢を評価する。 よって、予習・復習や授業中の態度や定期試験を重視する。
評価方法	定期試験80% 質疑応答、模擬授業、レポート、出席率20%
テキスト	藤田久美編『アクティブラーニングで学ぶ福祉科教育法』（2017）一藝社
参考文献	保住芳美編『高等学校学習指導要領の展開 福祉科編』（2010）明治図書
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	ワークシート事例		
2	ワークシート事例		
3	アクティブラーニングを導入した授業計画		
4	アクティブラーニングを導入した授業計画		
5	ICTを導入した授業計画		
6	模擬授業		
7	模擬授業		
8	教育実習の準備		
9	教育実習の整理		
10	教育実習をもとにした情報の共有化		
11	地域で進める福祉教育の可能性		
12	福祉教育プログラムの企画・実践		
13	福祉教育実践の実際（高齢者福祉）		
14	福祉教育実践の実際（障がい者福祉）		
15	福祉教育実践の実際（ボランティア活動）		